

福 瓦 武 (徳島)	松 永 會 吾 (長崎)	大 塚 德 治 (新潟)	高 田 實 (東京)
原 寬 則 (新潟)	三 上 進 (東京)	齋 藤 靜 夫 (千葉)	田 上 早 苗 (鹿兒島)
笠 井 梧 樓 (山梨)	中 山 幸 一 (岡山)	坂 入 達 太 郎 (東京)	寺 倉 功 (岐阜)
木 村 徹 (愛知)	大 儀 見 准 (東京)	多 賀 秀 孝 (大阪)	土 屋 久 司 (静岡)
小 岩 正 次 郎 (東京)	大 野 勝 重 (福岡)	高 橋 久 治 (宮城)	渡 部 登 (島根)
大正十年三月第二十回拓殖科卒業者 (六人) (ABC順)			
秦 彌 之 助 (東京)	松 本 義 朝 (廣島)	竹 島 雄 三 (東京)	
川 崎 榮 治 (福岡)	杉 山 新 一 (愛知)	富 谷 政 明 (岡山)	
大正十一年三月第二十一回文科卒業者 (二名) (ABC順)			
福 島 茂 吉 (埼玉)	中 川 德 太 郎 (新潟)		
大正十一年三月第二十一回貿易科卒業者 (十九名) (ABC順)			
赤 坂 正 策 (青森)	石 高 英 太 郎 (新潟)	箕 輪 清 治 (大阪)	鷹 野 慶 五 (長野)
藤 田 靜 夫 (岡山)	石 坂 豐 生 (東京)	宮 澤 次 郎 (長野)	浦 澤 一 男 (新潟)
原 勇 (東京)	河 西 達 夫 (長野)	三 好 穰 (佐賀)	脇 坂 精 一 (東京)
入 江 一 清 (岡山)	喜 多 川 清 一 (東京)	中 代 富 士 男 (北海道)	吉 井 嘉 雄 (山形)
石 井 壽 (東京)	近 藤 知 次 (福島)	佐 藤 健 夫 (埼玉)	

土 岐 紀 文 (北海道)	進 藤 達 (佐賀)	大正十一年三月第二十一回拓殖科卒業者 (二名) (ABC順)	
伊 藤 博 (廣島)	大正十二年三月第二十二回文科卒業者 (一名)		
大正十二年三月第二十二回貿易科卒業者 (十名) (ABC順)			
安 藤 茂 (山口)	平 澤 重 胤 (愛知)	新 妻 太 郎 (千葉)	田 中 保 德 (佐賀)
古 川 泰 治 (大分)	堀 内 岩 雄 (長野)	野 村 義 治 (島根)	
古 川 靖 (東京)	松 田 芳 雄 (和歌山)	太 田 利 養 (岡山)	
大正十二年三月第二十二回拓殖科卒業者 (七名) (ABC順)			
肥 田 善 衛 (静岡)	片 山 國 夫 (山口)	小 野 田 敢 (滋賀)	吉 崎 三 郎 (富山)
稻 垣 重 造 (東京)	南 雲 克 太 郎 (新潟)	新 谷 佐 一 郎 (東京)	
大正十三年三月第二十三回文科卒業者 (八名) (ABC順)			
細 井 定 (埼玉)	石 毛 晴 雄 (東京)	斜 森 茂 (廣島)	塚 本 純 三 (福岡)
伊 佐 山 恒 治 (埼玉)	松 宮 一 也 (群馬)	高 橋 清 一 (新潟)	吉 川 傳 之 助 (東京)
大正十三年三月第二十三回貿易科卒業者 (十二名) (ABC順)			

安岡敬藏 (秋田) 畑 健次 (京都) 小川 勇 (茨城) 田村信夫 (福島)
 有坂敏夫 (群馬) 村井正藏 (福島) 大島政志 (長野) 渡邊藤三郎 (東京)
 淺井 博 (福島) 西 電三郎 (長崎) 杉山一良 (埼玉) 山本正虎 (滋賀)

大正十三年三月第二十三回拓殖科卒業者 (十名) (ABC順)

百武常夫 (佐賀) 長濱敏夫 (福岡) 清水寅三 (東京) 武下 致 (福岡)
 官林虎男 (福島) 中村平治 (静岡) 新庄信三郎 (北海道)
 宗力文雄 (秋田) 織田正徳 (兵庫) 高松宗康 (富山)

大正十四年三月第二十四回文科卒業者 (五名) (ABC順)

荒井眞祐 (大分) 澤田英一 (群馬) 山本 照 (愛知)
 蛭澤正夫 (三重) 高橋雄二 (東京)

大正十四年三月第二十四回貿易科卒業者 (九名) (ABC順)

藤井十郎 (山口) 大林多吉 (東京) 谷口萬年 (三重)
 今枝外二 (石川) 玉木勝夫 (東京) 谷村忠雄 (東京)
 益子篤美 (栃木) 田中正男 (兵庫) 吉田三郎 (富山)

大正十四年三月第二十四回拓殖科卒業者 (五名) (ABC順)

長谷川 宇一郎 (千葉) 倉田 勇 (富山) 吉崎芳太郎 (京都)
 小林卯三郎 (東京) 村田五郎 (山口)

大正十五年三月第二十五回文科卒業者 (四名) (ABC順)

川崎 徹三 (大阪) 光安 國男 (福岡)
 古賀敏行 (東京) 中島正男 (福岡)

大正十五年三月第二十五回貿易科卒業者 (九名) (ABC順)

馬場辰夫 (東京) 堀 田 勳 (廣島) 富永權一 (新潟)
 濱中金一 (北海道) 大塚龍男 (東京) 山下光輔 (静岡)
 神山保和 (千葉) 柴田 實 (愛知) 吉川重信 (石川)

大正十五年三月第二十五回拓殖科卒業者 (五名) (ABC順)

羽方 章 (長野) 村田愛治郎 (京都) 鈴木高平 (福島)
 金岩孝三郎 (静岡) 岡田 峻 (東京)

葡語部

盛田守衛 (愛知) 大正十一年三月第一回文科卒業者 (一名)

本郷慶一 (愛知) 大正十一年三月第一回貿易科卒業者 (五名) (ABC順)

池田健次 (東京) 大川守之助 (茨城) 山田幸壽 (栃木)

星誠 (宮城) 大正十一年三月第一回拓殖科卒業者 (三名) (ABC順)

鈴木重郎 (東京) 岡本良知 (富山) 志村威雄 (神奈川) 選科修了者 (二人)

樋口三代吉 (埼玉) 大正十三年三月第二回文科卒業者 (一名)

堀鶴三郎 (東京) 大正十三年三月第二回貿易學卒業者 (三名)

小山田三郎 (東京) 柴原耕 (福島) 大正十三年三月第二回拓殖科卒業者 (八名) (ABC順)

安部六郎 (徳島) 加治木常滿呂 (福岡) 松本清二 (静岡) 高橋博 (静岡)
原田六郎 (福岡) 岸田爲藏 (大阪) 關一雄 (神奈川) 上野忠夫 (山形)
安藤深 (廣島) 選科修了者 (二名)

千合定雄 (東京) 大正十四年三月第三回文科卒業者 (一名)

藤井泰一郎 (廣島) 大正十四年三月第三回貿易科卒業者 (六名) (ABC順)

丸山半 (長野) 三浦正明 (山形) 沼上一雄 (静岡)
新津虎文治 (山梨) 坂本八雄 (群馬)

大正十四年三月第三回拓殖科卒業者 (四名) (ABC順)
齊藤菊次郎 (東京) 下村陸大 (佐賀)
櫻井東策 (熊本) 友田金三 (京都)

支那語學科

明治三十三年七月第一回卒業生

(九人)

(いろは順)

×岡本正文 (愛媛) ×寺本寅彦 (熊本)

滿永鐵太 (熊本)

河崎武 (熊本) ×齋藤勝治 (佐賀)

×宮内元 (千葉)

×上田三徳 (東京) 佐藤新太郎 (山形)

×島田翰 (東京)

明治三十四年七月第二回卒業生

(十一人)

(いろは順)

岩原大三郎 (東京) 藤山石五郎 (徳島)

×曾谷健吾 (廣島) ×阿部生居造 (群馬)

池田貞榮 (高知) ×神谷武馬 (長崎)

奥津銀平 (群馬) 青柳義作 (新潟)

×飯田邦彦 (東京) ×糟谷好助 (埼玉)

船橋甚兵衛 (兵庫)

明治三十五年七月第三回卒業生

(八人)

(いろは順)

石垣光義 (東京) 堀田延千代 (大阪)

×大部八州夫 (茨城) 松本土農夫 (福井)

林要五郎 (北海道) 高島長治 (福井)

松村孫一 (埼玉) ×増井茂松 (三重)

明治三十六年七月第四回卒業生

(九人)

(いろは順)

竹内脩吉 (三重) 梅村美誠 (神奈川)

八木直藏 (静岡) 佐藤敏治 (東京)

宇佐美右之 (東京) ×倉澤保 (東京)

寺田由衛 (愛媛) 菊川龜次郎 (熊本)

諸岡三郎 (佐賀)

明治三十七年七月第五回卒業生

(十八人)

(いろは順)

×稻葉要作 (静岡) 中村準輔 (山口)

小網二三郎 (群馬) 志岐吉彦 (沖繩)

品治貞 (香川) 山田吾郎 (静岡)

秋山昱禎 (山梨) 樋口勝 (三重)

高江正庸 (鹿兒島) 山崎淳一郎 (佐賀)

鈴木準繩 (福井)

×竹内午郎 (東京) 山元敬二 (鹿兒島)

里見庸三 (栃木)

×内藤惟行 (愛媛) 山瀬肇 (鳥取)

滿岡勳一 (佐賀)

明治三十八年七月第六回卒業生

(二十七人)

(いろは順)

長谷理教 (山形) 甲賀三郎 (静岡)

×浦瀨豊次郎 (長崎) 木川加一 (廣島)

遠山猛雄 (茨城) 健野常治 (宮城)

柳谷鐵也 (秋田) 三宅芳雄 (熊本)

近田美喜太郎 (愛知) 神谷衛平 (東京)

小松光治 (大阪) 宮越健太郎 (新潟)

輪丸卓爾 (福岡) 加美山壽 (宮城)

綾部徳次郎 (茨城) 東海林光治 (神奈川)

小川文之助 (佐賀) 太宰文平 (愛媛)

齋藤幸太郎 (宮城) 清水豊一 (長野)

×岡村節 (鳥取) 中島久雄 (佐賀)

×齋藤文雄 (新潟) 須古純造 (佐賀)

小山田廣志 (栃木) ×浦保壽 (高知)

佐久間鐵次郎 (熊本)

選科修了生

(四人)

(いろは順)

×茅野房次郎 (千葉) 古増 安(神奈川)

明治三十九年七月第七回卒業生

上野政治 (栃木) 鈴木重彦(鹿兒島)
(二十一人) (いろは順)

×生田 耕 (新潟) ×本田辰三郎 (東京)

石井儀平 (長野) 東條義一 (東京)

中城正亮 (高知) 由月義一 (兵庫)
山崎重次 (島根) 戸田守一 (宮城)

×服部邦久 (長崎) 友田久雄 (兵庫)

松岡貞真 (兵庫) ×鈴木巳之作 (栃木)

早川正雄 (長野) 川井光太郎 (千葉)

西尾廣司 (奈良) ×加藤 節 (茨城)

松本隆助 (埼玉) 益田謙吉 (東京)

四川有味三 (熊本) ×中村梅吉 (高知)

小沼信造 (東京) (四人) (いろは順)

選科修了生

×穂積秀範 (三重) 種子田 實(鹿兒島)

成澤直亮 (長野) 三橋政門(北葎道)

明治四十年三月第八回卒業生

(二十七人) (いろは順)

伊原平之助 (島根) ×長 誠一 (福岡)

泉 田 學 (福島) 川村小三郎 (宮城)

武智俊道 (鳥取) 上杉謹一 (東京)

石井恒次郎 (東京) 吉雄 豊 (大分)

鶴見治世 (長野) 山田 清 (東京)

×遠山亮吉 (長野) 吉田 舜 (兵庫)

永原正雄 (静岡) 山崎大八 (東京)

高木 潔 (東京) 村井舜造 (山口)

×上谷庫平 (兵庫) 藤谷三磨 (滋賀)

後藤 愛 (東京)

近藤綠之甫 (山梨) 清野 惣吉 (新潟)

廣本光治 (兵庫) 杉浦直吉 (東京)

×相良 經 豊(鹿兒島) 島田千代治 (山梨)

平田恒太郎 (東京) (いろは順)

選科修了生 (三人)

×濱田幸之助(鹿兒島) 藤澤 悌二郎 (石川)

有南宇兵衛(和歌山) (十七人) (いろは順)

明治四十一年三月第九回卒業生

林 政 藏 (大阪) 藤 森 勇 (長野)

木村愛香 (東京) 守屋禮三 (岡山)

金丸六也 (宮崎) 小林嘉真 (山梨)

水谷岩三郎 (新潟) ×杉 秀 雄 (福岡)

粕山貞雄 (島根) 小林陽之介 (東京)

芝 文 雄 (愛媛) 平田欣爾(神奈川)

津村精太郎 (福岡) 小谷 綱 吉 (愛知)

森 善 吉 (宮城) (二十人) (いろは順)

久志本 鐵之祐 (三重) 酒井清兵衛 (岐阜)

明治四十二年三月第十回卒業生

伊藤基光 (愛知) 河喜多英二 (福岡)

長畑桂藏 (福岡) 藤澤正雄 (石川)

×本間光民 (新潟) ×柏崎郁三郎 (栃木)

大庭孝道(鹿兒島) ×寺田業也 (新潟)

小川 逸 郎 (東京) 吉村 芳 一 (山口)

黒川直枝 (島根) 荒井永代(神奈川)

小澤善兵衛 (福岡) ×高橋源二 (福岡)

倉田誠一 郎 (福島) 佐藤文兒 (宮城)

川保義重 (群馬) 副島國雄 (長崎)

山口 穠 平 (愛知) 白川 功 (長野)

明治四十三年三月第十一回卒業生

(二十四人)

(いろは順)

石堂重徳 (滋賀) 門屋 誠 (山形)
 飯塚千代 (茨城) 高橋隆司 (千葉)
 西村雅義 (愛知) 高木銑鋪 (愛知)
 渡邊徳太 (熊本) 武田秀三 (高知)
 渡部 誠 (鳥根) ×中村常彦 (茨城)
 渡邊昇吾 (千葉) 中野高一 (佐賀)

選科修了生 (二人)

長谷川 賢 (茨城) 上野賢一 (長崎)

(いろは順)

納富準一 (佐賀) 天津莊一 (東京)
 梅宮源一 (福島) 安藤千代吉 (千葉)
 大塚 彌 (茨城) 佐倉毅一 (東京)
 大鹽忠夫 (栃木) 重田金輔 (山口)
 古屋諦道 (福岡) 望月 陽 (静岡)
 近藤 亮 (東京) 森本滋枝 (鳥取)

明治四十四年三月第十二回卒業生

(二十三人)

(成績順)

土屋彦俊 (千葉) 五十嵐禎三 (新潟)
 加藤謙三郎 (愛知) ×杉浦胤治 (愛知)
 田村 愛 (鳥取) 遠藤憲治郎 (三重)
 小野澤三郎 (静岡) 矢野藤助 (栃木)
 茂串元次 (栃木) 玉置萬壽二 (和歌山)
 高田良助 (東京) 齋藤申七 (宮城)

高野 猛 (茨城) 齊藤仁吉 (福島)
 齋藤英一 (長崎) 住吉貞人 (福島)
 杉山大吉 (静岡) 清水龜之助 (三重)
 並木武雄 (北海道) 海保文吉 (千葉)
 大地亮平 (千葉) ×高橋四郎 (福岡)
 宮島鹿雄 (佐賀)

明治四十五年三月第十三回卒業生

(二十一人)

(成績順)

佐藤留雄 (岩手) 藤江憲造 (東京)
 秩父固太郎 (東京) 附榮宇一 (愛知)
 ×青山 殖 (埼玉) 星澤研壽 (宮城)
 金田宗次 (岡山) ×小貫 健 (茨城)
 渡會貞輔 (山形) 山本惣治 (新潟)
 天野眞文 (東京) 荒 基 (北海道)

×小倉達二 (東京) 米田祐太郎 (東京)
 武田寧信 (千葉) 山崎英雄 (茨城)
 大草虎尾 (長野) 慰田忠次 (東京)
 仲本正秀 (沖繩) 横關直一 (徳島)
 高木富三郎 (京都)

大正二年三月第十四回卒業生

(十四人)

(成績順)

×白田集助 (長野) 小林徳太郎 (群馬)
 藤原利明 (高知) 眞 鍋 潤 (香川)
 中谷俊作 (静岡) 梅原宗城 (茨城)
 田口國榮 (長崎) 廣瀬規矩治 (茨城)

立林一術 (京都) 林 馨 (富山)
 士田樊吾 (茨城) 泉 平 (佐賀)
 桑原善材 (福島)
 新谷峰五郎 (三重)

大正三年三月第十五回卒業生

(十三人)

(成績順)

×村 瀧 興 (神奈川) ×濱元松太郎 (富山)
 吉野近蔵 (栃木) 宮脇賢之介 (兵庫)
 堀内慶次 (東京) 内木壽滿治 (東京)
 ×八重柏卓 (岩手) 小林精策 (東京)

尾坂一佐 (岡山) 須藤 登 (群馬)
 村田廣舜 (兵庫)
 ×志水士城 (大分)
 ×大塚定孝 (廣島)

大正四年三月第十六回卒業生

(十六人) (成績順)

伊藤爲雄 (東京) 尾關良輝 (岐阜)
 飯田茂三郎 (千葉) 脇坂小一郎 (東京)
 高井末彦 (島根) 阿部辰雄 (宮城)
 藤田好一 (兵庫) 倉野文雄 (徳島)

服部隆造 (静岡)
 柿島保雄 (山梨)
 大島讓次 (神奈川)
 飯尾 誠 (東京)
 角田不二男 (東京)
 ×青柳眞正 (秋田)
 ×小林幸雄 (山梨)
 大島敬一 (東京)

大正五年三月第十七回卒業生

(二十人) (成績順)

支倉平之丞 (宮城) 島崎謙吉 (富山)
 馬渡隆芳 (佐賀) 篠田 保 (茨城)
 松原梅吉 (富山) 川村重郎 (三重)
 宮脇勝太 (香川) 増澤近知 (大分)
 道明 輝 (東京) 井潤藤三郎 (和歌山)

×境 邦 男 (青森)
 ×川島善五 (山形)
 相山義男 (栃木)
 今井信一郎 (長野)
 小野田美真 (新潟)
 ×本田四郎 (長野)
 宮崎英一 (新潟)
 杉田秀夫 (東京)
 里見良作 (宮城)
 一色龜之助 (三重)

大正六年三月第十八回卒業生

(十一人) (成績順)

中島鐵次 (佐賀) 安間安五郎 (千葉)
 吉成憲一郎 (徳島) 岩崎賢太郎 (埼玉)
 龜山正夫 (廣島) 千頭 豊 (高知)
 石垣里治 (宮城) 鈴木章一郎 (東京)

櫻井徳兵衛 (宮城)
 笹沼鐵雄 (兵庫)
 片桐宇一 (栃木)
 今野 經 徳 (宮城)
 ×酒 卷 憲 (埼玉)
 廣瀬憲三 (東京)
 大津信行 (東京)

大正七年三月第十九回卒業生

(二十一人) (成績順)

上野丈夫 (福岡) 山根三男 (東京)
 ×若杉末弘 (熊本) 岩永徳一 (佐賀)
 中田謙二郎 (山梨) 杉本 薫 (長野)
 久保木 昇 (福島) 高橋作治 (静岡)
 大西謙五郎 (三重) 作本友吉 (石川)
 高田初雄 (福井) 嵐田善九郎 (山形)

樋山順之助 (栃木)
 荻山貞一 (福井)
 藤生安太郎 (佐賀)
 横山 涉 (廣島)
 岩佐道之助 (新潟)
 加藤三男 (熊本)
 ×大井三郎 (新潟)
 増村敬三 (新潟)
 宮下寅次郎 (兵庫)

大正八年三月第二十回卒業生

(十八人) (成績順)

小瀨一郎 (東京) 川村幸雄 (東京)
 清水元助 (大坂) 菊澤幸夫 (東京)
 杉 武夫 (栃木) 村岡敦實 (佐賀)
 鈴木友三 (茨城) 西田長康 (鳥取)
 直川孝二郎 (和歌山) 飛永賢三 (新潟)
 鹿島武任 (大分)

市川健太郎 (長野)
 ×宮川一齊 (神奈川)
 田中一期 (群馬)
 志摩喜一 (長野)
 安原金男 (山形)
 麻喜正吾 (宮城)
 高橋郁治 (千葉)
 町田萬二郎 (長野)

選科修了生 (二人)

×後藤文之丞 (宮城) 平田徳次郎 (東京)

(二十名) (ABC順)

伊賀音八 (福岡)

稻垣重義 (愛知)	永原輝雄 (東京)	關 敬一郎 (福島)	瀧谷源四郎 (北海道)
伊東義助 (東京)	小原太三郎 (千葉)	柴野護夫 (新潟)	寺坂亮一 (岡山)
古閑元雄 (熊本)	齊藤吉之助 (福岡)	清水吉郎 (東京)	浦野靜枝 (群馬)
×向井四郎 (福岡)	佐々木二三 (山口)	杉田 正 (埼玉)	吉竹貞治 (兵庫)

大正十年三月第二十二回文科卒業者 (二人)

湯山 昇 (愛知)

大正十年三月第二十二回貿易科卒業者 (廿五人) (ABC順)

橋本義雄 (東京)	近 藤 幹 (埼玉)	野口夏生 (福岡)	高木喜平治 (岡山)
平山貞齋 (栃木)	栗野鷹二 (静岡)	岡部計二 (富山)	田 尻 泰 (鹿兒島)
市瀬八郎 (長野)	萬年清一 (静岡)	岡 本 巍 (東京)	土屋波平 (山梨)
石井正隆 (福島)	松原久義 (愛媛)	大内義見 (宮城)	山崎信夫 (高知)
川口市次 (鹿兒島)	中村俊夫 (新潟)	佐久間康治 (愛知)	
木下輝一 (新潟)	成瀬藤藏 (静岡)	鈴木甚助 (新潟)	
駒井 巖 (山梨)	那須野 秀 (福島)	田部井久彌 (栃木)	

大正十一年三月第二十三回貿易科卒業者 (二十九名) (ABC順)

×福田 稔 (埼玉)	福島伊平 (群馬)	秦 義 雄 (福岡)	服部克己 (熊本)
------------	-----------	------------	-----------

引田哲一郎 (鳥取)	兒玉憲吉 (宮崎)	小田武夫 (新潟)	高世俊作 (神奈川)
廣川 汕吉 (佐賀)	久住悌三 (埼玉)	岡崎英三郎 (岡山)	梅谷斌雄 (静岡)
廣野益二郎 (京都)	三科政雄 (山梨)	尾島三郎 (栃木)	山 本 登 (愛媛)
堀内正名 (山梨)	三谷廣通 (鳥根)	大澤重英 (長野)	吉田祐造 (新潟)
伊 藤 正 (福島)	森脇國男 (大分)	太 田 致 (大分)	
箕 三 郎 (千葉)	×野上禮義 (大分)	×佐藤駒吉 (山形)	
川井秀夫 (山梨)	野村忠義 (石川)	鈴木要太郎 (千葉)	

大正十二年三月第二十四回文科卒業者 (一名)

北浦藤郎 (奈良)

大正十二年三月第二十四回貿易科卒業者 (十七名) (ABC順)

奥沼文五郎 (山形)	木田芳義 (滋賀)	松井一枝 (愛知)	田口武雄 (群馬)
平井和夫 (大阪)	木村義一 (神奈川)	武藤貞喜 (熊本)	柳 政 次 (栃木)
猪瀬五郎 (栃木)	小峰彌太郎 (神奈川)	中西林次郎 (愛知)	
石田忠吉 (静岡)	桑名彌五郎 (高知)	小胎今朝治郎 (長野)	
河内俊一 (兵庫)	松田光藏 (奈良)	進士敏雄 (静岡)	

大正十二年三月第二十四回拓殖科卒業者 (三名) (ABC順)

福富七郎 (兵庫)

橋本

幌 (兵庫)

石井

晃 (福島)

大正十三年三月第二十五回文科卒業者

(九名)

(ABC順)

平野榮勇 (千葉)

松本鐵男 (東京)

杉山徳治 (栃木)

伊藤廣三 (東京)

嶺岸進 (宮城)

高見薫雄 (宮崎)

加藤弘之 (静岡)

奥平定世 (京都)

渡邊尙剛 (東京)

大正十三年三月第二十五回貿易科卒業者

(十四名)

(ABC順)

伊藤顯忠 (千葉)

三上哲雄 (滋賀)

野口誠 (埼玉)

種村保三郎 (東京)

貴志鐵男 (京都)

水野架輔 (長野)

佐藤俊次郎 (山形)

山内恭雄 (福島)

小室吉秋 (長野)

村永益美 (鹿兒島)

武田武雄 (新潟)

高野鎮二 (東京)

中山博策 (新潟)

田邊雄吉 (京都)

大正十三年三月第二十五回拓殖科卒業者

(三名)

(ABC順)

小林一郎 (東京)

瀧澤榮一 (千葉)

富澤亮松 (石川)

大正十四年三月第二十六回文科卒業者

(六名)

(ABA順)

赤澤憲次 (愛媛)

川添研三 (京都)

鈴木重郎 (静岡)

萩原純郎 (鹿兒島)

小川一郎 (愛知)

山本保 (茨城)

大正十四年三月第二十六回貿易科卒業者

(七名)

(ABC順)

小林秀太郎 (群馬)

小見敬 (山形)

世良時道 (廣島)

田畑要助 (東京)

岡田四郎 (鳥取)

大沼信耳 (山形)

鈴木鋳一郎 (静岡)

大正十四年三月第二十六回拓殖科卒業者

(八名)

(ABC順)

市橋正己 (岐阜)

松平忠久 (長野)

岡崎興 (神奈川)

植松榮一郎 (東京)

生田一正 (鳥取)

西川勇 (愛媛)

竹下義雄 (長崎)

米山國義 (鹿兒島)

大正十五年三月第二十七回文科卒業者

(六名)

(ABC順)

阿美謙平 (栃木)

小室元次 (茨城)

小黒俊太郎 (福島)

石田恒夫 (大分)

小山敏三 (長野)

志村冬雄 (山梨)

大正十五年三月第二十七回貿易科卒業者

(八名)

(ABC順)

有馬純治 (鹿兒島)

五十嵐浩五郎 (福島)

伊澤榮 (栃木)

兩角龍雄 (長野)

藤本利雄 (愛媛)

岩城俊次 (和歌山)

森守信 (神奈川)

吉澤保 (長野)

大正十五年三月第二十七回拓殖科卒業者

(二名)

(ABC順)

松田瓦輔 (山口)

貞松助資 (佐賀)

蒙古語學科

大正三年三月第一回卒業生

(三名) (成績順)

菊竹實藏 (福岡) ×佐々木一郎 (秋田)

佐藤富江 (福島)

大正六年三月第二回卒業生

(七人) (成績順)

三原増水 (福岡) 大島清 (佐賀)

三森七郎 (福島) 佐々木孝三郎 (宮城)

大正八年三月第三回卒業生

(九人) (成績順)

松本軍三 (栃木) 田口實 (佐賀)

野口秋利 (長崎)

五百木元 (愛媛) 上野一郎 (岡山)

金久一恵 (徳島)

佐藤徳三郎 (東京) 渡邊賢治 (神奈川)

栗原悦司 (群馬)

大正十年三月第四回貿易科卒業生

(四人) (ABC順)

安藤松太郎 (神奈川) 松尾悌次 (東京)

中根直介 (東京) 田村菅八 (群馬)

大正十三年三月第五回貿易科卒業生

(六名) (ABC順)

鳴志田一雄 (東京) 小島武男 (佐賀)

大堀五郎 (福島)

木庭豊則 (熊本) 南澤喜久男 (長野)

勢田康章 (東京)

大正十三年三月第五回拓殖科卒業生

(五名) (ABC順)

日高穠夫 (島根) 佐藤正夫 (神奈川)

山川捨夫 (山形)

佐治龍華 (東京) 高橋芳男 (埼玉)

大正十四年三月第六回貿易科卒業生

(五名) (ABC順)

遠藤静一 (埼玉) 輕海一男 (東京)

吉田勝 (愛媛)

磯阜一 (栃木) 内田藤一 (群馬)

大正十四年三月第六回拓殖科卒業生

(六名) (ABC順)

出村真一 (愛知) 輕込源吾 (千葉)

奥六三郎 (福岡)

舟山信夫 (山形) 小林虎男 (東京)

田口正夫 (岐阜)

暹羅語學科

大正三年三月第一回卒業生

大河

蕭 (京都)

服部繁松 (静岡)

堀

亮一 (和歌山)

池田林儀 (秋田)

(四人)

(成績順)

大正五年三月第二回卒業生

佐藤致孝 (東京)

鈴木清光 (埼玉)

小倉

直 (鹿兒島)

×石神正賢 (東京)

(四人)

(成績順)

馬來語學科

大正三年三月第一回卒業生

望月五一 (山梨)

鈴木一夫 (東京)

寺町文男 (東京)

(十人)

別所直尋 (宮城)

岡村治 (静岡)

×守田茂人 (福岡)

岡山丈夫 (神奈川)

×高松正亨 (東京)

×末廣義男 (岡山)

島山孝一 (山形)

大正五年三月第二回卒業生

上原訓藏 (熊本)

日夏雅一 (東京)

永田源三郎 (福岡)

(五人)

(成績順)

高田成義 (石川)

越智有 (愛媛)

大正七年三月第三回卒業生

齋藤榮三郎 (新潟)

朝倉純孝 (石川)

園田顯家 (山形)

(十人)

小菅擴治 (東京)

土屋擴 (長野)

小笠原牧四郎 (福井)

竹内三郎 (東京)

篠田昌忠 (愛知)

篠原弘 (北海道)

原朝義 (山梨)

大正九年三月第四回卒業生

赤岡孝雄 (長野)

三好俊吉郎 (福岡)

大山廣利 (鹿兒島)

(十四人)

渡邊敏治 (鹿島)

知念昌永 (沖繩)

森脇一美 (島根)

小澤顯夫 (山梨)

(ABC順)

米村正二 (熊本)

花村馨 (廣島)

小田靜穗 (静岡)

塚本五郎 (静岡)

早川忍 (島根)

×大儀見正 (東京)

上野廣 (茨城)

大正十一年三月第五回貿易科卒業者

(五名) (ABC順)

堀田 操 (東京) 野澤 佐助 (新潟) 關 三千藏 (東京)

大正十一年三月第五回拓殖科卒業者

(五名) (ABC順)

木藤 重義 (鹿兒島) 岡本 精一 (東京) 山下 九内 (滋賀)

大正十二年三月第六回貿易科卒業者

(八名) (ABC順)

藤掛 藤吉 (栃木) 小林 泰 (福岡) 山下 九内 (滋賀) 青木 直記 (栃木) 堀 三郎 (大分) 大崎 東平 (東京) 常吉 春彦 (佐賀)

大正十二年三月第六回拓殖科卒業者

(六名) (ABC順)

藤田 峻英 (福井) 中村 誠 (茨城) 山崎 亨 (千葉) 鹿島 文吉 (東京) 緒方 隆造 (福岡) 吉川 元 (東京)

大正十四年三月第七回貿易科卒業者

(五名) (ABC順)

今井 富吉 (東京) 中西 信史 (廣島) 寺部 俊次 (愛知) 神 克行 (青森) 齋藤 又喜 (熊本)

大正十四年三月第七回拓殖科卒業者

(二名) (ABC順)

藤本 武夫 (神奈川) 大村 道夫 (靜岡)

大正十五年三月第八回貿易科卒業者

(七名) (ABC順)

藤本 喜代松 (兵庫) 田中 三七次郎 (東京) 柴田 嘉雄 (愛知) 永田 辰男 (靜岡) 岡田 要 (岐阜) 傍島 順吉 (岐阜) 高橋 政雄 (北海道)

大正十五年三月第八回拓殖科卒業者

(九名) (ABC順)

藤井 萬吉 (福岡) 小林 一男 (群馬) 宮島 康利 (熊本) 原田 真兼 (鹿兒島) 松田 一郎 (福島) 森田 卓爾 (群馬) 大島 盛邦 (東京)

菊地 三 (栃木)

渡邊 守男 (東京)

ヒンドスタニー語學科

大正三年三月第一回卒業生 (八人) (成績順)
 戸谷貞雄 (東京) 小川 正 (静岡) 池田辰夫 (東京) 高橋 温 (東京)

大正五年三月第二回卒業生 (五人) (成績順)
 横地憲和 (静岡) 安藤芳平 (埼玉) 青木保次郎 (東京)

大正七年三月第三回卒業生 (五人) (成績順)
 乾 彦一 (京都) ×水口百龜 (神奈川) 高瀬笹一 (兵庫)

大正九年三月第四回卒業生 (八人) (ABC順)
 高橋盛雄 (廣島) 中山活宗 (石川) 未岡明治 (東京) 瀧島千代雄 (埼玉)

大正十一年三月第五回貿易科卒業生 (十一人) (ABC順)
 上村吉太郎 (東京) 三上健三 (埼玉) 武川安宅 (神奈川) 田中五雄 (東京)

大正十一年三月第五回拓殖科卒業生 (一人)
 飯田四郎 (埼玉) 井上 準 (鳥取) 大西雅雄 (兵庫) 武田幸太郎 (岡山)

大正十一年三月第六回貿易科卒業生 (七名) (ABC順)
 飯泉憲司 (埼玉) 長友 操 (宮崎) 佐野一二三 (宮城) 高橋定一郎 (東京)

大正十二年三月第六回貿易科卒業生 (四名) (ABC順)
 蒲生禮一 (鳥根) 石井康孝 (香川) 鈴木信太郎 (愛知)

大正十二年三月第六回拓殖科卒業生 (四名) (ABC順)
 小森 信 (岐阜) 清水 博 (静岡) 高岡大輔 (新潟) 吉田 卯 (愛媛)

大正十四年三月第七回貿易科卒業生 (四名) (ABC順)
 蘭 作司 (佐賀) 狩野三郎 (福島) 河崎俊行 (鳥取) 太秦勇哲 (廣島)

大正十四年三月第七回拓殖科卒業生 (三名) (ABC順)
 遠藤士一 (東京) 石橋恒喜 (千葉) 渡邊國雄 (新潟)

大正十五年三月第八回貿易科卒業生 (十名) (ABC順)
 平賀弘二 (徳島) 五日市清志 (岩手) 仁科健三 (東京) 富田庚子郎 (群馬)

大正十五年三月第八回拓殖科卒業生 (三名) (ABC順)
 堀田泰造 (岩手) 奥村忠夫 (石川) 世良直太郎 (鳥取)

光武悦次 (佐賀) 大崎 隆 (熊本) 笹川泰廣 (大阪)

朝鮮語學科

(舊稱韓語學科)

明治四十四年一月改稱

明治三十三年七月第一回卒業生

(三人)

(いろは順)

本田 存 (東京)

山口 有信 (愛知)

×重嶺 一祐 (山口)

明治三十四年七月第二回卒業生

(四人)

(いろは順)

西田 誠一 (大分)

加藤 勝之助 (愛知)

×江崎 精一 (愛知)

天野 雄之輔 (滋賀)

明治三十五年七月第三回卒業生

(九人)

(いろは順)

伊藤 四郎 (東京)

櫻村 武雄 (茨城)

山本 恒太郎 (東京)

石崎 資孝 (栃木)

×多田 謙三 (長野)

秋吉 英三 (東京)

×小野 雄志 (岡山)

×國方 章二 (香川)

木下 蕃 (福井)

選科 修了生

(一人)

上田 順一郎 (京都)

明治三十六年七月第四回卒業生

(一人)

藤戸 計太 (長崎)

明治三十七年七月第五回卒業生

(三人)

(いろは順)

本多 寛三 (福井)

河野 小七郎 (佐賀)

天谷 操 (東京)

明治三十八年三月第六回卒業生

(六人)

(いろは順)

堀江 三郎 (佐賀)

曲 主馬 (福岡)

岸本 徳三郎 (兵庫)

武間 卓一 (兵庫)

天海 真之 (埼玉)

×末 永健一 (東京)

明治三十八年六月第六回卒業生

(三人)

(いろは順)

村上 安造 (東京)

近藤 信一 (千葉)

明治三十八年七月第六回卒業生

(二人)

(いろは順)

渡邊 倉藏 (福島)

島田 慶三郎 (東京)

選科 修了生

(一人)

中島 直吉 (静岡)

明治三十九年七月第七回卒業生

(十二人)

(いろは順)

×岩倉 一 (宮崎)

岡崎 進 (高知)

井手 貞吉 (福岡)

堀 佐太郎 (大阪)

和田 喜一郎 (京都)

大久保 清 (静岡)

相川 靈瑞 (石川)

遠山 佑吉 (東京)

玉木 良 (山梨)

松尾 辰一 (佐賀)

森山 静造 (東京)

選科 修了生

(一人)

(いろは順)

石橋 義雄 (神奈川)

明治四十年三月第八回卒業生

(十六人)

(いろは順)

市川安之進 (三重) 高岡宣次 (東京) 松谷讓 (佐賀) 赤司勳一 (佐賀)
 加藤顯一 (廣島) 高木國則 (茨城) 間宮龍真 (島根) 齊藤助昇 (山梨)
 龜山猛治 (北海道) 武原周之助 (神奈川) 萬田新太郎 (東京) 岸川直吉 (佐賀)
 鴨川清十郎 (長崎) 大和田燾 (宮城) ×青山武男 (群馬) 杉浦齊 (静岡)

明治四十一年三月第九回卒業生

(十四人) (いろは順)

岡田勝利 (愛知) 瀧山靖次郎 (長崎) 古内義 (茨城) 芝崎路可 (東京)
 ×小田切萬吉 (廣島) 栗田作四郎 (静岡) 北村薩雄 (東京) 關原二男 (山形)
 横山英志 (鹿兒島) ×功刀孝義 (山梨) 木村善淳 (三重) 田川長次郎 (長崎) 山田寛治 (新潟) 三好六藏 (香川)

明治四十二年三月第十回卒業生

(十人) (いろは順)

×伊地知直七 (鹿兒島) 瀧口亮造 (福岡) ×松美己之吉 (石川) ×淺香武夫 (福岡)
 西村洪治 (大阪) 猪俣富士雄 (鹿兒島) 藤井亥之助 (大阪)
 岡田榮 (廣島) 保田正昇 (東京) 荒谷厚三 (秋田)

選科 修了生

(一人)

野澤寛一 (新潟)

明治四十三年三月第十一回卒業生

(二人) (いろは順)

西村真太郎 (兵庫) 依田貞美 (東京)

明治四十四年三月第十二回卒業生

(七人) (成績順)

山本外治 (石川) 寺田常治 (茨城) 黒澤小二郎 (千葉) 齊藤 湛 (東京)
 奥山仙三 (秋田) 金子正潔 (三重) 川浪淳平 (佐賀)

明治四十五年三月第十三回卒業生

(九人) (成績順)

田川忠信 (島根) 津山辨一 (大阪) 萩谷二郎 (茨城)
 小田毅 (長崎) 佐藤鶴太郎 (新潟) 村上耻己 (長崎)
 扇昌夫 (長崎) 茂手木知貞 (山梨) 淺野保之 (東京)

大正二年三月第十四回卒業生

(七人) (成績順)

×太中隆四郎 (島取) 水野昇 (長崎) 福永市次 (熊本) 仁位 豊 (長崎)
 清水兵三 (島根) 山田俊夫 (山形) 二藤部行義 (山形)

大正三年三月第十五回卒業生

(六人) (成績順)

上村宇多彌 (東京) 小坂部 瀧 (新潟) 立山彦熊 (鹿兒島)
 木内忠雄 (東京) 石川重次 (福島) 山本正誠 (茨城)

大正四年三月第十六回卒業生

(六人) (成績順)

受甲武雄 (熊本) 塚田 康 (茨城) 小林文藏 (宮城)
 袴塚 稔 (茨城) 高橋阿久次郎 (東京) 中川英一 (茨城)

選科修了生

(二人)

村山正夫 (千葉)

大正六年三月第十七回卒業生

鈴木伊佐男 (福島)

島田一郎 (廣島)

(七人) (成績順)

上原保義 (東京)

筒井治明 (高知)

柴田秀雄 (東京)

長野

達 (東京)

大正七年三月第十八回卒業生

大竹晴雄 (福島)

油下恭之助 (茨城)

藤松常三郎 (佐賀)

武藤

俊 (茨城)

(四人) (成績順)

本科卒業生職業別

(七月一日調)

職業等	語學部												
	英	佛	獨	露	伊	西	葡	支那	蒙古	暹羅	馬來	タニリス	朝鮮
大學高等專門學校	四二	二二	四五	一二	三	六	一	一〇	一	三	二	一	一四八
陸海軍諸學校	一九	一三	二六	三									二二九
中實業學校	八一	一一	二	九									一〇四
其他ノ學校	二四	六二	一一	五〇	七	一六	四	二		一	一	九	二四〇
內國官廳	二	七	一五	一七	四	一三	二	三		四	三	二	七四
大使公使館	四	一〇	一	一		一							一四
總領事館													七
總督府都督府													四
會社	一〇	八	一六	一七	二	二							四二
銀行	一五	三	一	二	一	一							一八
商店	三一	一六	二〇	二二	一	一							七二
自修學	二九	二四	二七	一七		一							一四
兵修	四	三	三	四		一							一三
死	七	六	四	一		一							二二
計	七〇	四六	九六	七四	九三	三三	三	五〇	四	八	六	三〇	三三四

陸海軍委託選科修了者

英語部學科

大正六年三月修了生 (五人) (成績順)
 海軍 尾崎 主税 (東京) 陸軍歩 荒井榮之助 (福島) 陸軍歩 吉本萬壽藏(和歌山)
 大尉 陸軍歩 中川 清 (福岡) 陸軍二尉 松村 幌(和歌山)
 兵中尉 等主計
 大正七年三月修了生 (四人) (成績順)
 陸軍工月館 善吉 (青森) 陸軍二尉 江口 盛一 (愛知) 陸軍歩 中村次喜藏 (福岡) 陸軍砲 木村 鼎 (島根)
 兵中尉 等主計
 大正八年三月修了生 (四人) (成績順)
 陸軍砲 鍋島 陸郎 (東京) 陸軍歩 江本茂夫 (德島) 陸軍歩 竹中英治 (東京) 陸軍騎 角田啓輔 (千葉)
 兵中尉 陸軍中尉 坂口 雅夫 (熊本) 陸軍歩 坂田 徹治 (静岡)
 大正九年三月修了生 (五人) (成績順)
 陸軍歩 中島 敏男 (佐賀) 陸軍中尉 坂口 雅夫 (熊本) 陸軍歩 坂田 徹治 (静岡)
 兵中尉 陸軍二尉 八木 光三 (兵庫) 陸軍中尉 吉田 景三 (大阪)
 等主計
 大正十一年三月修了者 (二名) (ABC順)
 陸軍歩 人見 幹雄 (岡山) 陸軍砲 田村 浩 (廣島)
 兵中尉 步中尉

大正十一年三月修了者 (五名) (ABC順)
 陸軍砲 堀 等 (長崎) 海軍 水野 恭助 (東京) 陸軍歩 野間 賢之助 (岡山)
 兵中尉 陸軍中尉 輜 宮脇 襄二 (滋賀) 陸軍中尉 輜 館 織 悌治 (秋田) 兵中尉 野間 賢之助 (岡山)
 重兵大尉 等
 大正十三年三月修了者 (四名) (ABC順)
 ×陸軍歩 中尉 陳 田 馨 (宮城) 陸軍騎 大山 驥夫 (兵庫) 陸軍歩 齋藤 鐘三 (愛知) 陸軍歩 土橋 勇逸 (佐賀)
 兵中尉 步中尉
 大正十五年三月修了者 (二名)
 海軍 中尉 加世田 哲彦(鹿兒島)

佛語學科

明治四十五年三月修了生 (一人)

海軍 櫻井 繁 (東京) 大正二年三月修了生 (一人)

海軍主計少監 長田 正義 (長野) 大正六年三月修了生 (三人)

陸軍歩 飯村 續 (茨城) 陸軍歩 伴 錦次 (岡山) 陸軍歩 上杉 憲武 (栃木) 大正七年三月修了生 (三人)

陸軍歩 平賀 享二 (山形) 陸軍歩 榎木 鎮夫 (福岡) 陸軍歩 朝比奈 大樹 (廣島) 大正八年三月修了生 (四人)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取) 陸軍歩 長谷川 彰一 (福井) 陸軍歩 檜田 興三吉 (石川) 兵中尉 齋藤 二郎 (山口) 大正九年三月修了生 (五人)

陸軍工 阿野 忠章 (山口) 陸軍歩 水野 博夫 (東京) 陸軍歩 鈴木 長四郎 (愛知) 兵中尉 齋藤 肇 (廣島) 大正十年三月修了生 (三人)

陸軍歩 福澤 定和 (長野) 陸軍歩 木庭 大 (熊本) 陸軍歩 齋藤 二郎 (山口) 兵中尉 中田 秀平 (石川) 陸軍歩 中川 作二郎 (石川) 陸軍砲 仲野 伊平 (兵庫) 大正十一年三月修了者 (四名) (ABC順)

海軍 池田 人 (東京) 陸軍歩 沼田 英治 (宮城) 陸軍歩 篠原 次郎 (長野) 兵中尉 藤田 一耶 (佐賀) 陸軍砲 竹内 兼 (廣島) 大正十四年三月修了者 (四名) (ABC順)

陸軍工 江淵 庸恭 (北海道) 陸軍歩 笠間 孝三郎 (神奈川) 陸軍歩 小林 碧 (長野) 兵中尉 伊奈 重誠 (新潟) 陸軍歩 北野 順一郎 (鳥取) 陸軍航 吉田 準雄 (滋賀) 大正十五年三月修了者 (四名) (ABC順)

獨語學科

大正六年三月修了生

(五人)

(成績順)

×陸軍歩高岡 貞 (熊本) 陸軍砲橋本 宗史 (大阪) 陸軍歩大尉安藤 政保 (福島)
兵中尉羽生 能敬(鹿兒島) 陸軍一等軍醫平井 正就 (東京)

大正七年三月修了生

(四人)

(成績順)

陸軍歩鈴木 春松(神奈川) 陸軍歩上村 幹男 (山口) 陸軍砲本間 徳治 (山形) 陸軍歩遠山 登(神奈川)
兵中尉鈴木 春松(神奈川) 兵中尉上村 幹男 (山口) 兵中尉本間 徳治 (山形) 兵中尉遠山 登(神奈川)

大正八年三月修了生

(四人)

(成績順)

陸軍歩岩崎 清海 (東京) 陸軍歩中尉神野 賢太郎 (愛媛) 陸軍歩稅所 基彦(鹿兒島) 陸軍歩佐古 龍祐 (山口)
兵中尉岩崎 清海 (東京) 兵中尉神野 賢太郎 (愛媛) 兵中尉稅所 基彦(鹿兒島) 兵中尉佐古 龍祐 (山口)

大正九年三月修了生

(五人)

(ABC順)

陸軍砲青柳 縁 (福島) 陸軍歩兒島 雅治 (岡山) 陸軍歩齋藤 彌 (宮城)
兵中尉青柳 縁 (福島) 兵中尉兒島 雅治 (岡山) 兵中尉齋藤 彌 (宮城)

大正十年三月修了者

(四人)

(ABC順)

陸軍歩三宅 貞彦 (岡山) 陸軍歩中尉岡 博明 (愛媛) 陸軍歩亦藤 庄次 (兵庫) 陸軍歩牛島 正夫(神奈川)
兵中尉三宅 貞彦 (岡山) 兵中尉岡 博明 (愛媛) 兵中尉亦藤 庄次 (兵庫) 兵中尉牛島 正夫(神奈川)

大正十一年三月修了者

(二人)

(ABC順)

陸軍騎長友 次男 (宮崎) 陸軍歩中尉湯淺 卓三 (京都)

大正十二年三月修了者

(四名)

(ABC順)

陸軍砲神谷 修 (東京) 陸軍歩中澤 三夫 (山梨) 陸軍歩大尉西垣 新七 (愛知) 陸軍騎山本 吉郎 (福岡)
兵中尉神谷 修 (東京) 兵中尉中澤 三夫 (山梨) 兵中尉西垣 新七 (愛知) 兵中尉山本 吉郎 (福岡)

大正十三年三月修了者

(五名)

(ABC順)

陸軍砲佐藤 雅雄 (廣島) 陸軍歩四方 諒二 (兵庫) 陸軍砲栗田 篤世 (東京)
兵中尉佐藤 雅雄 (廣島) 兵中尉四方 諒二 (兵庫) 兵中尉栗田 篤世 (東京)

大正十四年三月修了者

(五名)

(ABC順)

陸軍歩平林 茂樹 (廣島) 陸軍工栗本 進 (京都) 陸軍騎田 橋 武 (東京)
兵中尉平林 茂樹 (廣島) 兵中尉栗本 進 (京都) 兵中尉田 橋 武 (東京)

陸軍歩劉田 秀郎(北海道) 陸軍歩中尉間瀬 坦平 (愛知)

露語學科

明治四十四年三月修了生 (一人)

海軍 大佐 岩田 秀雄 (東京)

大正六年三月修了生 (四人) (成績順)

陸軍歩 兵中尉 山口 一郎 (青森) 陸軍歩 兵中尉 飯村 輔夫 (東京) 陸軍歩 兵中尉 安江 仙弘 (長野) 陸軍歩 兵中尉 越川 省吾 (千葉)

大正七年三月修了生 (三人)

陸軍工 兵中尉 須田 忠 (山梨) 陸軍歩 兵中尉 堀江 一正 (東京) 陸軍歩 兵中尉 石塚 喜助 (埼玉)

大正八年三月修了生 (一人) (成績順)

陸軍歩 兵中尉 横田 次郎 (福島)

大正九年三月修了生 (二人) (ABC順)

陸軍歩 兵中尉 松坂 政孝 (東京) 陸軍歩 兵中尉 齋田 仙太郎 (東京)

大正十年三月修了生 (三人) (ABC順)

陸軍輜 兵中尉 重森本 覺 (兵庫) 陸軍二 等主計 田 島 彰 (愛知) 陸軍歩 兵中尉 横井 忠道 (大分)

大正十一年三月修了生 (二人) (ABC順)

陸軍砲 兵中尉 竹尾 清澄 (東京) 陸軍歩 兵中尉 内田 與助 (埼玉)

大正十二年三月修了生 (三名) (ABC順)

陸軍歩 兵中尉 秋山 明治 (東京) 陸軍騎 兵中尉 長 濱 彰 (埼玉) 陸軍歩 兵中尉 安木 幹太郎 (鳥取)

大正十三年三月修了生 (六名) (ABC順)

陸軍歩 兵中尉 上條 保廣 (長野) 陸軍騎 兵中尉 崎田 安正 (長崎) 陸軍騎 兵中尉 德田 豊 (三重)
陸軍歩 兵中尉 小松原 遼男 (神奈川) 陸軍歩 兵中尉 柴野 芳三 (東京) 陸軍歩 兵中尉 富永 順太郎 (福島)

大正十四年三月修了生 (五名) (ABC順)

陸軍二 等主計 遠藤 多喜夫 (鳥取) 陸軍歩 兵中尉 税所 基彦 (鹿児島) 陸軍歩 兵中尉 海内 彌八 (富山)
陸軍歩 兵中尉 太田 軍藏 (熊本) 陸軍歩 兵中尉 多喜 弘 (静岡)

大正十五年三月修了生 (五名) (ABC順)

陸軍砲 兵中尉 原 松一 (廣島) 陸軍一 等主計 三浦 日出雄 (青森) 陸軍歩 兵中尉 鶴飼 芳男 (東京)
陸軍歩 兵中尉 池邊 萬三 (大分) 陸軍歩 兵中尉 櫻井 信太 (長野)

伊語部

- 陸軍騎兵大尉 後藤 外馬 (滋賀) 大正十一年三月修了者 (一名)
- 陸軍步兵中尉 山田 信吾 (福岡) 大正十四年三月修了者 (一名)

西語學科

- 陸軍步兵大尉 藤谷 覺三郎 (滋賀) 大正七年三月修了生 (一人)
- 陸軍步兵中尉 武藤 當次郎 (東京) 大正九年三月修了生 (一人)
- 陸軍步兵中尉 池上 克馬 (高知) 大正十一年三月修了者 (一人)
- 陸軍步兵中尉 青野 三郎 (茨城) 陸軍步兵中尉 古西 秀次 (石川) 大正十二年三月修了者 (二人) (ABC順)
- 陸軍步兵中尉 梨岡 壽男 (香川) 大正十三年三月修了者 (一人)
- 陸軍步兵中尉 鈴元 親三千 (福岡) 大正十四年三月修了者 (一人)
- 陸軍步兵中尉 木通 清時 (鹿兒島) 大正十五年三月修了者 (一人)

支那語學科

明治四十四年三月修了生 (一人)

少海軍 菊地 豊吉 (福島)

大正六年三月修了生 (五人) (成績順)

海軍林 復一 (和歌山) 陸軍歩兵中尉 堀井 富太郎 (兵庫) × 陸軍歩兵大尉 土田 倭太郎 (廣島)
大主計 金光 卓彌 (岡山) 陸軍歩兵中尉 小西 康照 (香川)
等主計 陸軍歩兵中尉 田 一 (東京) × 陸軍歩兵中尉 松本 敏三 (兵庫)

大正七年三月修了生 (五人) (成績順)

陸軍歩兵大尉 田所 定右衛門 (和歌山) 陸軍歩兵大尉 瀧川 正義 (和歌山) 陸軍歩兵中尉 下永 憲次 (熊本)
陸軍歩兵中尉 島田 一 (東京) × 陸軍歩兵中尉 松本 敏三 (兵庫)

大正八年三月修了生 (五人) (成績順)

陸軍歩兵中尉 本池 政敏 (鳥取) 陸軍歩兵中尉 廣瀬 善三郎 (愛媛) 陸軍歩兵中尉 織田 昌一 (山口)
陸軍歩兵中尉 直田 久太郎 (兵庫) 等主計 土 正雄 (岡山)

大正九年三月修了生 (六人) (ABC順)

陸軍砲兵中尉 石橋 鬼千與 (福島) 陸軍歩兵中尉 大竹 菊三郎 (静岡) 陸軍歩兵中尉 武田 一二 (兵庫)
陸軍歩兵中尉 松尾 勇太郎 (福岡) 陸軍歩兵中尉 櫻庭 子郎 (青森) 陸軍歩兵中尉 十時 和彦 (熊本)

大正十年三月修了生 (六名) (ABC順)

陸軍歩兵中尉 金澤 常雄 (熊本) 陸軍歩兵中尉 齋藤 恭平 (新潟) 陸軍歩兵中尉 柳浦 榮市 (島根)
陸軍歩兵中尉 權 寧 漢 (朝鮮) 陸軍歩兵中尉 田村 寛三 (東京) 陸軍歩兵中尉 安永 篤次郎 (兵庫)

大正十一年三月修了生 (三名) (ABC順)

陸軍歩兵大尉 足達 貞記 (大分) 陸軍歩兵中尉 森本 五郎 (佐賀) 陸軍歩兵中尉 手塚 潤 (京都)
陸軍輜重兵中尉 河田 六次郎 (岐阜) 陸軍歩兵中尉 宮原 重種 (山口) 陸軍歩兵大尉 宇多 佐助 (山口)

大正十二年三月修了生 (五名) (ABC順)

陸軍歩兵中尉 菊地 覺 (福岡) 陸軍歩兵中尉 武澤 芳雄 (福井)

大正十三年三月修了生 (三名) (ABC順)

陸軍砲兵大尉 淺田 彌五郎 (京都) 陸軍歩兵大尉 羽山 喜郎 (東京) 陸軍歩兵少佐 佐森 龍之助 (宮城)

大正十四年三月修了生 (三名) (ABC順)

陸軍歩兵中尉 濱野 正巳 (埼玉) 陸軍歩兵中尉 岡本 茂 (岡山) 陸軍歩兵中尉 内海 惣太郎 (鳥取)

大正十五年三月修了生 (四名) (ABC順)

陸軍歩兵大尉 皆藤 喜代志 (茨城) 陸軍砲兵中尉 安浦 直徳 (千葉) 陸軍歩兵大尉 堤 雄平 (佐賀) 陸軍歩兵中尉 渡邊 進 (新潟)

蒙古語學科

大正六年三月修了生 (一人)

陸軍歩兵大尉 鈴江 萬太郎 (德島) (一人)

大正八年三月修了生

陸軍歩兵中尉 宮本 徳一 (愛媛) (一人)

大正十年三月修了者 (三人) (ABC順)

陸軍歩兵中尉 益田 政愛 (愛媛) 陸軍歩兵中尉 平 吾一 (山口) 陸軍歩兵中尉 武波 恒太 (山口)

大正十三年三月修了者 (二人) (ABC順)

陸軍歩兵中尉 金川 耕作 (福島) 陸軍歩兵大尉 下永 憲次 (熊本)

大正十四年二月修了者 (一名)

陸軍歩兵中尉 萩原 英 (群馬)

馬來語部

大正九年三月修了生 (五名) (ABC順)

陸軍歩兵中尉 長谷川 佐市 (愛知) 陸軍歩兵中尉 井上 美暢 (東京) 陸軍歩兵大尉 山本 茂 (廣島)

陸軍歩兵中尉 平岡 聞造 (廣島) 陸軍歩兵中尉 坂野 博暉 (愛知)

大正十一年三月修了者 (二名) (ABC順)

陸軍砲兵大尉 間野 一喜 (石川) 陸軍歩兵中尉 山本 俊雄 (愛知)

大正十二年三月修了者 (二名) (ABC順)

陸軍輜重兵大尉 杉村 飛車太郎 (群馬) 陸軍歩兵大尉 谷 弘 (栃木)

陸海軍委託選科修了者

一三〇

ヒンドスタニー語部

大正十一年三月修了者

(一名)

陸軍歩兵中尉 黒田 保太郎 (東京)

大正十五年三月修了者

(一名)

陸軍歩兵大尉 岡野 一喜 (石川)

朝鮮語學科

明治四十四年三月修了生

(一人)

海軍主計中監 木下 國明 (長野)

陸海軍委託選科修了生

一三一

陸海軍委託選科第二學年修業生

英語學科

大正三年三月修業生 (二人) (成績順)
 少海軍 鈴木 秀次 (愛媛) ×海軍三宅 大太郎 (東京)
 大正四年三月修業生 (二人) (成績順)
 大海軍 中村 寛 (廣島) 少佐 野口 厚 (山口)
 大正七年三月修業生 (二人)
 大海軍 三好 七郎 (三重)
 大正九年三月修業生 (二人) (ABC順)
 中尉 小島 正 (静岡) 海軍 佐藤 源藏 (神奈川)
 大正十年三月修業生 (七人) (ABC順)
 陸軍歩 福島 一郎 (岩手) 陸軍歩 磯部 孝助 (山口)
 兵中尉 濱中 匡甫 (東京) 兵中尉 工藤 勝彦 (青森) 大海軍 多賀 高秀 (東京)
 大正十一年三月修業生 (五名) (ABC順)
 海軍 花田 行武 (鹿兒島) 海軍二室田 五郎 (山口) 陸軍歩 永井 卯吉郎 (鹿兒島) 海軍 澤吹 衷 (新潟)
 等主計 陸軍歩 山口 憲三 (福島)

陸軍歩 山崎 文三郎 (福岡)
 大正十二年三月修業生 (三名) (ABC順)
 陸軍歩 西原 鹿之助 (静岡) 陸軍歩 山崎 茂 (長野) 陸軍二安川 海六 (長野)
 兵中尉 陸軍經重 今濱 利吉 (石川) 海軍 三好 恒 (東京) 海軍 柳澤 藏之助 (長野)
 兵中尉 陸軍歩 稻垣 弘毅 (愛知) 兵中尉 中村 重次郎 (青森)
 大正十四年三月修業生 (五名) (ABC順)
 陸軍歩 堀内 旭 (群馬) 海軍 淡 慶 讓 (鹿兒島) 陸軍二關 八洲 (茨城) 海軍 竹内 馨 (鳥取)
 兵中尉 陸軍二新居 邦八 (徳島)
 大正十五年三月修業生 (二名) (ABC順)
 陸軍歩 秋山 邦雄 (熊本) 陸軍歩 難波 了三 (山口)
 兵中尉

佛語學科

明治四十四年三月修業生 (一人)

海軍機 關大尉 小野 德三郎 (三重) (一人)

少海軍 佐 洪 泰夫 (福岡) (二人) 大正二年三月修業生 (成績順)

少海軍 佐 安富 正造 (神奈川) (二人) 大正三年三月修業生 (一人)

少海軍 佐 鶴野 正方 (熊本) (二人) 大正四年三月修業生 (成績順)

大尉 峰谷 信太郎 (岡山) (三人) 大正五年三月修業生 (成績順)

大尉 飯倉 克己 (大分) (三人) 大正六年三月修業生 (成績順)

大尉 山村 實 (大分) (二人) 大正七年三月修業生 (成績順)

海軍機 關大尉 永江 晋 (東京) (二人)

大正八年三月修業生 (一人)

大尉 山田 敏世 (長崎) (四人) (ABC順)

大尉 犬塚 惟重 (東京) (五人) 大正十年三月修業生 (ABC順)

大尉 加治木 智種 (東京) (四人) 大正十一年三月修業生 (ABC順)

中尉 可兒 清壽夫 (岐阜) (三人) 大正十二年三月修業生 (ABC順)

海軍機 關中尉 福地 英男 (佐賀) (三人) 大正十三年三月修業生 (ABC順)

海軍機 關大尉 藤井 芳郎 (東京) (五人) 大正十四年三月修業生 (ABC順)

陸軍 等主計 藤定 兼衛 (岡山) (三人) 大正十五年三月修業生 (ABC順)

陸軍 等主計 平部 英夫 (青森) (三人) 大正十五年三月修業生 (ABC順)

陸軍 兵中尉 岩 本 清 (三重) (三人) 大正十五年三月修業生 (ABC順)

獨語學科

明治四十四年三月修業者 (四人) (成績順)
 海軍 井上 繁則 (香川) 海軍機 赤堀 研吉 (兵庫) 海軍 井出 光輝 (廣島) 海軍 上村 從義 (東京)
 少佐 關少佐 堀川 清美 (東京) (二人) (成績順)
 明治四十五年三月修業者 (二人) (成績順)
 海軍機 山中 政之(神奈川) 海軍主 堀川 清美 (東京)
 關少佐 (二人) (成績順)
 大正二年三月修業者 (二人) (成績順)
 海軍 伊藤 彰五郎 (千葉) 海軍機 角田 常治郎 (千葉)
 少佐 關少佐 (二人) (成績順)
 大正三年三月修業者 (四人) (成績順)
 海軍主 二村 光三 (福島) 海軍 服部 豊彦(和歌山) ×海軍主 細井 正治 (東京) 海軍 木村 豊樹 (東京)
 計少監 少佐 關少佐 (二人) (成績順)
 大正五年三月修業者 (二人) (成績順)
 海軍 野原 伸治 (山口) 海軍 佐久間敬太郎(和歌山)
 大尉 關大尉 (二人) (成績順)
 大正六年三月修業者 (二人) (成績順)
 海軍 久保 忠道 (鳥取) 海軍機 渡邊 陸一 (岡山)
 少佐 關大尉 (二人) (成績順)
 大正七年三月修業者 (五人) (成績順)
 海軍 吉田 茂雄 (大分) 海軍 細谷 義男 (東京) 海軍機 江坂 徳藏 (東京)
 中尉 大尉 關大尉 (三人) (成績順)
 海軍 鎌田 道章 (愛媛) 海軍 松本 一郎 (福島) 中尉 少佐 (二人) (成績順)

大正八年三月修業者 (三人) (成績順)
 海軍主 計中尉 佐野 嘉末 (三重) 海軍機 久保 敬二 (香川) 海軍機 赤坂 卯之助 (大阪)
 關大尉 (三人) (ABC順)
 大正九年三月修業者 (三人) (ABC順)
 ×海軍 濱田 邦雄 (長崎) 海軍 細谷 信三郎 (京都) 海軍 大野 善隆 (東京)
 大尉 中尉 (三人) (ABC順)
 大正十年三月修業者 (三名) (ABC順)
 海軍主 計中尉 西野 定市 (福岡) 海軍 小住 徳三郎 (福岡) 海軍機 山口 眞澄 (宮城)
 大尉 關大尉 (六名) (ABC順)
 大正十一年三月修業者 (六名) (ABC順)
 海軍 中尉 安藤 榮城 (岡山) 陸軍歩 中村 越 (山梨) 陸軍歩 高田 典文 (福井)
 海軍機 關中尉 御子柴 集人 (長野) 陸軍歩 兵中尉 作間 喬宜 (山口) 海軍 吉村 貞(鹿兒島)
 關中尉 (二人) (ABC順)
 大正十二年三月修業者 (二人) (ABC順)
 海軍機 關中尉 今泉 英三 (愛知) 海軍 三上 射鹿 (廣島)
 中尉 (二人) (ABC順)
 大正十三年三月修業者 (三名) (ABC順)
 海軍機 關中尉 田中 義吉 (千葉) 海軍主 計中尉 搦田 權藏 (栃木) 海軍機 關中尉 脇 太 良 (山口)
 關中尉 (二名) (ABC順)
 大正十四年三月修業者 (二名) (ABC順)
 海軍機 關中尉 秋重 實惠(鹿兒島) 海軍 前田 清(鹿兒島)
 中尉 (二名) (ABC順)

大正十五年三月修業者 (五名) (ABC順)

陸軍騎兵 有坂 光威 (東京) 陸軍砲兵 松下 金雄 (愛知) 海軍機山 田 彪男 (愛媛)

陸軍步兵 岡野 俊夫 (和歌山) 陸軍步兵 太田 廣 (山形)

兵中尉 兵中尉

露語學科

明治四十五年三月修業者 (一人)

大海軍 眞崎 勝次 (鹿兒島)

大正二年三月修業者 (二人) (成績順)

少海軍 內藤 省一 (東京) × 大海軍 三宅 駿五 (兵庫)

大正四年三月修業者 (二人) (成績順)

大海軍 中島 喜代宜 (茨城) 少海軍 池田 健一 (千葉)

大正五年三月修業者 (二人) (成績順)

大海軍 蒲生 武司 (宮城) 大海軍 新妻 準二 (山口)

大正七年三月修業者 (一人)

中尉 阪本 敏 (埼玉)

大正九年三月修業者 (二人) (ABC順)

大海軍 新井 清 (東京) 大海軍 久重 一郎 (岡山)

大正十年三月修業者 (四名) (ABC順)

陸軍步兵 岩淵 駿一 (千葉) 中尉 前田 稔 (鹿兒島) 陸軍步兵 松本 喜六 (熊本) 海軍 山縣 泰介 (山口)

大正十一年三月修業者 (三名) (ABC順)

× 大海軍 藤城 錦之助 (東京) 陸軍騎兵 菊田 一郎 (山梨) 陸軍步兵 根東 龍太郎 (徳島)

大正十二年三月修業者 (三名) (ABC順)

中尉 黒木 剛一 (宮崎) 陸軍步兵 水谷 純 (三重) 陸軍步兵 安廣 年雄 (福岡)

大正十三年三月修業者 (一名)

中尉 山口 捨次 (東京)

大正十四年三月修業者 (二名) (ABC順)

中尉 松本 一郎 (兵庫) 陸軍步兵 小野 茂春 (岩手)

大正十五年三月修業者 (二名) (ABC順)

中尉 川畑 正治 (東京) 海軍 前田 直 (東京)

伊語學科

海軍 中賀 藤吾 (佐賀) 一
 明治四十四年三月修業生 (一人)

海軍機田 中 謙治 (福岡) 一
 明治四十五年三月修業生 (一人)

陸軍步 多田 德久 (山口) 一
 大正七年三月修業生 (一人)

陸軍步 中尉 大谷 雄介 (山口) 陸軍步 兵大尉 德尾 俊彦 (東京) 二
 大正十年三月修業者 (二人) (ABC順)

陸軍步 兵中尉 矢島 元 (山形) 一
 大正十三年三月修業者 (一人)

陸軍步 兵中尉 北山 雄三 (兵庫) 一
 大正十五年三月修業者 (一人)

陸軍步 兵大尉 武藤 當次郎 (東京) 一
 大正十五年三月修業者 (一人)

西語學科

少海佐 友貞 俊太郎 (山口) 一
 明治四十四年三月修業生 (一人)

大尉 池田 敬之助 (東京) 一
 大正二年三月修業生 (一人)

大尉 江頭 貞三 (佐賀) 海軍 大尉 横山 馨 (東京) 二
 大正五年三月修業生 (二人) (成績順)

海軍 中尉 竹下 志計理 (島根) 一
 大正六年三月修業生 (一人)

大尉 森田 一男 (福井) 一
 大正九年三月修業者 (一人)

海軍 中尉 伊藤 賢三 (和歌山) 陸軍步 兵中尉 大島 竹藏 (京都) 二
 大正十年三月修業者 (二人) (ABC順)

海軍 中尉 益田 康彦 (福岡) 一
 大正十二年三月修業者 (一人)

中海軍 大熊 讓 (東京) 大正十三年三月修業者 (一名)

中海軍 重廣 篤雄 (山口) 大正十四年三月修業者 (一名)

支那語學科

大正二年三月修業者 (二人) (成績順)

大尉 菅沼 恕人 (愛知) × 海軍主計少監 花井 申 (埼玉)

大正三年三月修業者 (四人) (成績順)

大尉 久保田 久晴 (東京) 海軍少佐 伊藤 完 (三重) 海軍少佐 杉坂 悌二郎 (富山) 海軍大尉 柴田 源一 (愛媛)

大正四年三月修業者 (一人)

少海佐 梅田 三頁 (東京)

大正六年三月修業者 (三人) (成績順)

大尉 土居 政道 (高知) 海軍大尉 酒井 武雄 (長崎)

大正七年三月修業者 (三人) (成績順)

中海軍 土本 俊一 (愛知) 海軍中尉 宇田川 英庸 (神奈川) 海軍中尉 野村 經德 (兵庫)

大正八年三月修業者 (二人) (成績順)

大尉 尾崎 剛 (千葉) 海軍少尉 猪瀬 乙彦 (福島)

大正十年三月修業者 (二名) (ABC順)

中海軍 中原 三郎 (佐賀) 海軍大尉 岡野 俊吉 (兵庫)

大正十一年三月修業者

(五名)

(ABC順)

陸軍歩石田 豊藏 (兵庫) 陸軍歩鶴田 登實 (福岡) 陸軍歩山本 基行 (山梨)
 兵中尉寺田 秋三 (新潟) 陸軍歩渡邊 卯一郎 (新潟) 兵中尉渡邊 卯一郎 (新潟)

大正十二年三月修業者

(五名)

(ABC順)

海軍 隈部 勇 (東京) 陸軍歩西田 正人 (福岡) 陸軍歩高木 信 (佐賀)
 陸軍歩前田 照城 (高知) 中尉清水 健 (神奈川) 兵中尉高木 信 (佐賀)

大正十三年三月修業者

(六名)

(ABC順)

陸軍歩遠藤 平五郎 (宮城) 海軍 藤原 喜代間 (愛媛) 海軍 北浦 豊男 (鳥取)
 兵中尉江崎 義雄 (福岡) 陸軍歩井上 猪三郎 (福岡) 陸軍歩劉 升 烈 (朝鮮)

大正十四年三月修業者

(六名)

(ABC順)

海軍 肥後 市次 (鹿兒島) 陸軍砲河野 又四郎 (愛媛) 海軍 桑原 重遠 (熊本)
 陸軍歩加藤 光雄 (愛媛) 陸軍砲倉岡 繁太郎 (愛媛) 陸軍歩渡邊 四朗 (石川)

大正十五年三月修業者

(五名)

(ABC順)

海軍 小別當 惣三 (千葉) 陸軍歩重富 實秋 (鹿兒島) 陸軍歩浮田 龜太郎 (兵庫)
 中尉沖野 亦男 (東京) 陸軍歩田代 政繼 (熊本) 兵中尉浮田 龜太郎 (兵庫)

蒙古語學科

大正七年三月修業生

(二人)

(成績順)

陸軍歩松田 光作 (山口) 陸軍砲重石原 保男 (岡山)
 兵中尉松田 光作 (山口) 兵中尉重石原 保男 (岡山)

大正九年三月修業生

(二人)

(ABC順)

陸軍歩市川 寛一郎 (福島) 陸軍歩間瀬 勘八 (愛知)
 兵中尉市川 寛一郎 (福島) 兵中尉間瀬 勘八 (愛知)

大正十二年三月修業者

(一名)

(ABC順)

陸軍歩久保 勝春 (福岡)

馬來語學科

少海軍 森田 三郎 (東京) 明治四十五年三月修業生 (一人)

大正二年三月修業生 (一人)

大尉 井上 眞吾 (廣島)

大正六年三月修業生 (一人)

大尉 柴田 善治郎 (愛媛)

大正十三年三月修業生 (二人)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 福永 竹一 (山口) 陸軍歩兵中尉 吉永 國孝 (鹿兒島)

大正十四年三月修業生 (二人)

陸軍歩兵中尉 近藤 一男 (山梨)

ヒンドスタニー語部

大正十三年三月修業生 (二人)

陸軍歩兵中尉 豊三郎 (島根)

大正十四年三月修業生 (一人)

陸軍輜重兵大尉 柿原 熊一 (愛媛)

陸海軍委託選科第一學年修業者

英語部

大正十三年三月修業者 (四名) (ABC順)
 陸軍歩兵大尉原 昇 (福岡) 陸軍歩兵大尉原 利英 (佐賀) 陸軍歩兵大尉平林 盛人 (長野) 陸軍歩兵大尉平岡 閔造 (廣島)

大正十四年三月修業者 (四名) (ABC順)
 陸軍輜重平岡孝右衛門(栃木) 陸軍工兵大尉近藤 玉衛 (東京) 陸軍工兵中尉白井 茂 (山口) 陸軍歩兵中尉菅澤 亥重 (千葉)

大正十五年三月修業者 (四名) (ABC順)
 陸軍歩兵大尉有村 常吉(鹿兒島) 海軍中尉 永井 圓信(鹿兒島) 陸軍歩兵中尉宇都宮 直賢(鹿兒島) 陸軍歩兵中尉山川 常好 (長崎)

佛語部

大正十四年三月修業者 (一名)

海軍大尉 上野 正雄 (東京)

專修科修了生

英語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生

(十二人)

(いろは順)

岡田明達 (愛知) 浦壁長富 (東京)
高橋行次 (滋賀) 野一色千七郎 (静岡)
園田辰三郎 (東京) 大西成太 (香川)

黒川善一 (東京) 小山市太郎 (東京)
黒田茂次郎 (長崎) 小山英吾 (東京)
松下專吉 (静岡) 三宅貞齋 (東京)

明治三十三年七月第二回別科修了生

(六人)

(いろは順)

鳥越盛 (佐賀) 田中虎雄 (埼玉)
高比良勝二 (長崎) 中川源三郎 (京都)

大高準太郎 (東京)
的場 徳 (和歌山)

明治三十四年七月第三回別科修了生

(五人)

(いろは順)

錦織房之助 (宮城) 久保清太郎 (徳島)
香川敦太郎 (愛媛) 松井英一郎 (岐阜)

枝 正八 (茨城)

明治三十五年七月第四回別科修了生

(十六人)

(いろは順)

伊東献密 (福島) 加賀川市松 (兵庫)
西村惠次郎 (滋賀) 興謝野修 (京都)
星野鏡造 (東京) 多羅間政輔 (山口)

内藤明延 (東京) 山中實次郎 (滋賀)
野田爲太郎 (鳥取) 山崎正身 (高知)
野本彌生八 (和歌山) 古谷鐵之助 (東京)

秋山運四郎 (宮城)

君塚 一 (東京)

宮 定平 (廣島)

鈴木孫太郎 (静岡)

明治三十六年七月第五回別科修了生

(十九人)

(いろは順)

石川 功 (廣島) 吉福奥四郎 (長崎)
蜂屋三千三 (東京) 谷 氷輔 (福島)
小川松輔 (宮城) 内山秋太郎 (静岡)
片山喜十郎 (京都) 大村足彦 (東京)
金子助次郎 (長崎) 倉橋軍治 (宮城)

山形龜次郎 (東京) 後藤敬三 (東京)
山中榮藏 (山口) 秋月源太郎 (静岡)
松井億太郎 (茨城) 三浦秀二 (長崎)
小泉有道 (石川) 森 美文 (東京)
小出鑑次郎 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(十二人)

(いろは順)

板垣昌助 (静岡) 堀 重幸 (東京)
原 庄藏 (静岡) 小笠原静也 (東京)
林 善一 (東京) 加藤利雄 (東京)

高橋静雄 (東京) 眞下利郎 (群馬)
村形英次郎 (東京) 宮越健太郎 (新潟)
太田喜次郎 (京都) 四戸友太郎 (岩手)

明治三十八年七月第七回專修科(別科改稱)修了生(十九人)

(いろは順)

犬伏節輔 (徳島) 小野千代太 (廣島)
今井静治 (新潟) 萩野由次郎 (埼玉)
半田虎雄 (東京) 和田政治 (新潟)
西原修三 (東京) 河村竹三郎 (岐阜)
岡本稻輔(神奈川) 糟谷武城 (鳥取)

多田作治郎 (福岡) 中野一三 (香川)
鶴見 高 (千葉) 内田鎌司(神奈川)
長岡喜一 (山口) 安福勝美 (岐阜)
中村三男吉 (東京) 是永 均 (大分)
永井彌彦 (茨城)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(二十四人)

(いろは順)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|-------------|
| 伊東要之輔 (愛知) | 服部 鉄三郎 (神奈川) | 荻島 四三二 (東京) | 山内 朝吉 (福岡) |
| 伊藤 充男 (岐阜) | 林 臻 原 (大分) | 尾島 林之助 (神奈川) | 安藤 兎毛喜 (長崎) |
| 伊藤 昭吉 (香川) | 西村 稠 (島根) | 渡邊 豊一 (廣島) | 齋 藤 實 (東京) |
| 伊矢野 豊三郎 (栃木) | 富永 正清 (長崎) | 川口 眞清 (新潟) | 芝 芳義 (福岡) |
| 石塚 久雄 (新潟) | 千葉 茂 (岩手) | 植田 稔 (東京) | 森田 甫 (兵庫) |
| 服部 連三 (福島) | 小澤 政行 (東京) | 釘宮 極 (大分) | 住野 良三 (奈良) |
| 岡田 鈞 (東京) | 中山 彌市 (栃木) | 藤 卷 清 (東京) | 住野 良三 (奈良) |
| 小笠原 安太郎 (和歌山) | 氏 江 富藏 (山形) | 雙川 喜一 (東京) | 木村 説二 (兵庫) |
| 川原井 左司馬 (茨城) | 大津 茂 (東京) | 舟越 升太 (大分) | 水野 福三 (東京) |
| 川崎 廉吉 (佐賀) | 藏口 淺次郎 (富山) | 青木 秀太郎 (滋賀) | 嶺 岸 久治 (宮城) |
| 芳野 春吉 (愛媛) | 久米 豊作 (埼玉) | 淺石 晴香 (青森) | 城 親政 (栃木) |
| 露口 浩治 (大阪) | 丸山 殿淨 (長野) | 笹森 章一 (青森) | |
| 原 忠道 (東京) | 河村 正 (東京) | 小林 嘉貞 (山梨) | 三原 裕 (大分) |
| 西本 瀧藏 (廣島) | 高倉 俊政 (富山) | 寺田 祐男 (長野) | 鹽川 八男 (香川) |
| 星野 勝藏 (東京) | 玉田 耕二 (兵庫) | 天草 三郎 (東京) | |
| 鳥羽 順二 (東京) | 山田 寛治 (新潟) | 木村 善淳 (三重) | |

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十二人)

(いろは順)

明治四十二年三月第十回專修科修了生

(二十二)

(いろは順)

- | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 市原文治 (徳島) | 田内 定治 (愛知) | 中島 濱三郎 (栃木) | 坂本 鼎三 (静岡) |
| 石田 善太郎 (東京) | 津村 俊雄 (和歌山) | 村越 清太郎 (東京) | 崎田 清一 (東京) |
| 石井 己代吉 (東京) | 津山 辨一 (大阪) | 太田 清三郎 (岡山) | 廣川 善一 (東京) |
| 渡邊 裕 (東京) | 辻 芳哉 (福岡) | 前田 元四郎 (青森) | 菅原 菊治 (宮城) |
| 金原 利雄 (千葉) | 根本 敬三 (東京) | 小林 信一 (東京) | |
| 金田 爾耶 (鳥取) | 中村 盛司 (千葉) | 小西 好二郎 (奈良) | |
| 倭 謹五郎 (茨城) | 村井 己年 (大分) | 榎本 秋次郎 (東京) | 菊田 熊太郎 (東京) |
| 高橋 隆司 (千葉) | 野村 於菟三 (奈良) | 天津 莊一 (東京) | 土方 井三 (東京) |
| X 田中 鑛之助 (東京) | 大岩 峯吉 (東京) | 坂本 貞道 (東京) | 平野 長太郎 (愛知) |
| 田崎 安榮 (東京) | 熊谷 六郎 (岐阜) | 櫻井 宗吉 (東京) | 檜山 兼次郎 (茨城) |
| 角田 不二雄 (東京) | 八百 顯龍 (石川) | 木下 末雄 (佐賀) | |
| 赤羽 右 (長野) | 古市 哲 (千葉) | 柴山 啓一郎 (茨城) | 小山 體二 (岡山) |
| 近藤 保業 (兵庫) | 古田 吉五郎 (大阪) | 大西 竹松 (奈良) | 吉川 男也 (山形) |
| 三藤 治三郎 (三重) | 土屋 岐蘇生 (長野) | 江川 種太郎 (長崎) | 吉田 壽三郎 (熊本) |
| 深江 彦一 (大坂) | 竹澤 正武 (長野) | 福崎 節衛 (東京) | 後藤 基固 (滋賀) |
| 吉野 正夫 (千葉) | 中川 宗太郎 (大阪) | 大久保 鼎造 (東京) | 吉田 國松 (北海道) |
| 猪瀬 久三 (茨城) | 藤澤 出来造 (東京) | 小林 哲之助 (新潟) | 岩崎 勝平 (東京) |

明治四十三年三月第十二回專修科修了生

(十九人)

(いろは順)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生

(二十七人)

(成績順)

齋藤政一 (埼玉)

伊藤憲三 (東京)

工藤潤次郎 (長野)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (三十二人)

(成績順)

澁谷重武 (東京)	早川義治 (東京)	佐藤龍男 (廣島)	榎本健次 (東京)
木田利暢 (島根)	高須岩代 (東京)	能勢勝夫 (岡山)	正田德太郎 (廣島)
桐生筆次 (新潟)	森本憲章 (東京)	小笠原德兵衛 (岩手)	入江新吉 (東京)
高江幸彦 (大分)	逸見由太郎 (東京)	木村久七郎 (群馬)	山本鶴松 (静岡)
大川福松 (茨城)	藤岡健藏 (富山)	中川徹夫 (京都)	鈴木孝助 (神奈川)
間宮孝 (静岡)	豊島旭 (茨城)	飯島英次 (東京)	佐々木英夫 (埼玉)
佐野喜三郎 (東京)	曾我順雄 (神奈川)	土井敬一 (和歌山)	瀧村信男 (愛知)
三谷錦太郎 (東京)	村上喜平 (福岡)	岸田舜道 (滋賀)	伊坂賢二 (徳島)

大正二年三月第十五回專修科修了生

(十九人)

(成績順)

井出徳夫 (長野)	關徳平 (神奈川)	一瀬敏 (千葉)	空閑重峰 (佐賀)
高宮岩夫 (千葉)	太田丈太郎 (大阪)	名和順秀 (東京)	秋山敏長 (東京)
高松鶴吉 (千葉)	伊藤健 (福井)	稗田準一 (福岡)	櫻井忠之介 (茨城)
若松盛之助 (東京)	井上信善 (茨城)	神崎友吉 (栃木)	小宮仙吉 (東京)
上野一頁 (東京)	望月世教 (東京)	市川宣 (静岡)	

大正三年三月第十六回專修科修了生

(十五人)

(成績順)

彌江幸太郎 (兵庫)	望月五一 (山形)	大岩儀助 (北海道)	金子正吾 (長野)
------------	-----------	------------	-----------

服部繁松 (静岡)	眞宮幸之助 (京都)	伊藤薫 (群馬)	根本常次 (茨城)
宮下時太郎 (千葉)	大庭榮藏 (東京)	廣瀬貞平 (岐阜)	黒野武 (東京)
藤野憲夫 (静岡)	石丸充 (大分)	種田謙二 (岐阜)	

大正四年第十七回專修科修了生

(九人)

(成績順)

片岡悌三 (東京)	大塚彪雄 (千葉)	内藤健司 (愛知)	
高井末彦 (島根)	高橋貞作 (神奈川)	西川達三郎 (群馬)	
内海三八郎 (神奈川)	白井眞策 (兵庫)	菅崎義顯 (廣島)	

大正五年三月第十八回專修科修了生

(十一人)

(成績順)

弓削孝之助 (東京)	山内與一 (東京)	内藤助治 (宮城)	村上喜久治 (新潟)
伊藤恒 (千葉)	田邊定義 (鳥取)	手島三千三 (東京)	宮崎英次 (奈良)
伊藤兼四郎 (東京)	増村勝 (埼玉)	乾彦一 (京都)	

大正六年三月第十九回專修科修了生

(十四人)

(成績順)

山村喬 (福井)	安積千勝 (高知)	村田眞多男 (東京)	森山正義 (島根)
都築茂鹿兒島	山本榮助 (岡山)	杉本連治 (愛知)	加藤四三郎 (愛知)
中島鐵次 (佐賀)	儀峨徹二 (福井)	須藤忠 (栃木)	
宮下壽 (長野)	關矢恕一 (新潟)	武藤廣 (山梨)	

大正七年三月第二十回專修科修了生

(二十三人)

(成績順)

東野榮造 (大分) 大高喜一 (東京) 板橋秀雄 (東京) 大城戸仁輔 (兵庫)
 加藤喜太郎 (東京) 長谷川謙 (東京) 永田直武 (鹿兒島) 伊佐義基 (熊本)
 安田健一 (山梨) 平澤茂 (神奈川) 森又二 (富山) 山下恭之助 (茨城)
 金子庸之助 (東京) 廣浦政和 (東京) 宮川秀雄 (東京) 高野讓 (山形)
 山崎茂樹 (千葉) 田村浩 (群馬) 白井由藏 (栃木) 佐藤義和 (静岡)
 三上春美 (東京) 峰岸喜一 (福島) 小島時久 (栃木)

大正八年三月第二十一回專修科修了生 (二十六人) (成績順)

熊澤福督 (神奈川) 長澤榮作 (静岡) 上田惠三 (東京) 五十嵐藤助 (山形)
 延原好一 (岡山) 櫻井義教 (群馬) 船越藤吉 (東京) 春日喜三男 (長野)
 飛永賢三 (東京) 菊島丙三 (山梨) 大谷忠四郎 (福島) 大崎純一 (東京)
 花村馨 (廣島) 藤崎銳樹 (高知) 高橋剛 (福島) 池本靜藏 (京都)
 佐藤德三郎 (東京) 根岸眞三郎 (埼玉) 柏木栗 (兵庫) 鶴澤多吉 (千葉)
 如念昌永 (沖繩) 橋本健之助 (埼玉) 高松作治郎 (千葉) 鈴木千歳 (千葉)
 多田茂 (富山) 二宮榮春 (愛媛) 中島敏男 (佐賀) 田口泰藏 (兵庫)
 伊藤一郎 (東京) 森本亮一 (静岡) 佐々光郎 (三重) 高橋富藏 (東京)

大正九年三月第二十二回專修科修了生 (十八人) (ABC順)

谷口德行 (福岡) 内田繁 (東京) 矢田直二 (東京) 山本嘉助 (岐阜)
 豐倉正大 (鹿兒島) 若杉藤政 (福島) 山本嘉助 (岐阜)

大正十年三月第二十三回專修科修了生 (二十人) (ABC順)

安西清行 (千葉) 宮崎佐市郎 (和歌山) 齋藤眞雄 (宮城) 鶴德茂三 (千葉)
 蘆田清吉 (東京) 森下重格 (徳島) 清水秀雄 (東京) 山本貞吉 (滋賀)
 足羽憲太郎 (鳥取) 永沼騰 (福岡) 高和博 (茨城) 横田清 (茨城)
 伏見芳太郎 (東京) 西村直樹 (廣島) 高澤眞八 (栃木) 横山福太郎 (神奈川)
 菊池武光 (東京) 織田又雄 (東京) 榎輪正己 (福井) 吉田善松 (新潟)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生 (二十七名) (ABC順)

安藤文雄 (大分) 今里延次郎 (東京) 松平登 (神奈川) 富岡治郎 (埼玉)
 荒尾賢 (茨城) 石橋利三郎 (福岡) 宮本建三郎 (茨城) 若栗博助 (富山)
 千原千代吉 (東京) 菊池喜久太郎 (東京) 森脇國雄 (大分) 山野眞一 (東京)
 江畑誠一 (千葉) 小林敬太郎 (岡山) 中村唯一 (山口) 米垣整史 (東京)
 日比野昭 (岐阜) 金武雄 (岩手) 佐久間長次郎 (北海道) 吉田兵吉 (東京)
 廣瀬健三 (大阪) 小園秀雄 (鹿兒島) 鈴木俊久 (静岡) 吉田健次 (福島)
 堀田勝郎 (高知) 能代吉太郎 (東京) 高橋敬三 (新潟)

大正十二年三月第二十五回專修科修了生 (三十名) (ABC順)

有山環二 (福岡) 栗津清達 (東京) 江田靜藏 (福岡) 福田俊介 (栃木)

長谷川 忠平 (東京) 三村 武保 (長野) 大澤 作次 (神奈川) 武村 善夫 (長崎)
 服部 克己 (熊本) 美坂 彦藏 (鹿兒島) 櫻川 貞雄 (東京) 堤 勝 (愛媛)
 堀内 慶次 (東京) 中田 竹二 (東京) 關 武思 (福島) 渡邊 貞一 (静岡)
 磯野 三男 (東京) 新倉 慶 (神奈川) 白井 章平 (北海道) 山本 卯一 (三重)
 伊東 稔 (福井) 野間 逾 (愛媛) 杉山 慶一 (山形) 山崎 卯吉 (新潟)
 笠木 榮次郎 (東京) 小川 英夫 (兵庫) 高橋 繁夫 (東京) 高橋 繁夫 (東京)
 小林 貞武 (東京) 大久保 喜義 (兵庫)

大正十三年三月第二十六回專修科修了者 (二十八名) (ABC順)

橋本 武夫 (富山) 加藤 榮治 (茨城) 森 喜誠 (東京) 坂本 甚助 (知歌山)
 畑 健次 (京都) 木下 謙秀 (新潟) 中川 清 (長崎) 勢多 章康 (東京)
 今泉 忠義 (愛知) 小林 儀助 (千葉) 中山 是雄 (群馬) 島田 英一 (群馬)
 稻川 泰吾 (新潟) 子安 由巳 (千葉) 大石 與市郎 (秋田) 萬橋 清一 (新潟)
 磯村 英一 (東京) 熊野 純太 (山口) 岡本 實 (福岡) 高橋 芳男 (埼玉)
 岩田 新治 (東京) 増子 幸雄 (東京) 齋藤 幸之助 (埼玉) 上田 直俊 (新潟)
 笠井 民造 (東京) 森 太重郎 (岐阜) 坂卷 龜次郎 (東京) 山本 磯松 (廣島)

大正十四年三月第二十七回專修科修了者 (三十七名) (ABC順)

秋山 敏 (茨城) 蝦原 廣夫 (東京) 堀内 美廣 (長野) 香川 重雄 (神奈川)
 安藤 喜代三 (神奈川) 平野 敏夫 (廣島) 岩下 延雄 (東京) 柏木 新吾 (長野)

片岡 鹿造 (岡山) 森 圭介 (東京) 西方 時康 (宮城) 清水 武文 (山梨)
 河村 安治 (神奈川) 森川 次郎 (東京) 小川 梅吉 (神奈川) 富田 真夫 (長野)
 川添 研三 (大阪) 村山 繁 (東京) 大石 兵一 (静岡) 我妻 正 (山形)
 金城 朝永 (沖繩) 長沼 要一 (静岡) 大野 源之助 (長野) 山口 彦四郎 (群馬)
 小宮 兆四郎 (東京) 長澤 卯一 (東京) 齋藤 菊次郎 (東京) 吉田 仁磨 (東京)
 桑野 達平 (福岡) 中島 正男 (東京) 坂木 久雄 (群馬) 澤村 秀 (鳥取)
 黒澤 忠夫 (宮城) 中澤 八十六 (東京) 千合 定雄 (東京)

大正十五年三月第二十八回專修科修了者 (二十七名) (ABC順)

渥美 傳藏 (宮城) 角 館正倫 (山形) 室井 榮 (福島) 恩田 新六 (埼玉)
 堂脇 俊盛 (鹿兒島) 笠 三郎 (千葉) 長尾 喜一 (静岡) 大野 夏男 (千葉)
 藤澤 長雄 (香川) 笠間 辰次 (神奈川) 中山 巖 (滋賀) 四家 修平 (福島)
 五藤 義夫 (東京) 幸坂 勇夫 (長崎) 中安 久一 (静岡) 島津 爲三 (宮城)
 萩原 正太郎 (静岡) 倉田 實 (熊本) 小田 信一 (山形) 高橋 政雄 (北海道)
 平山 光徳 (栃木) 間野 一喜 (石川) 岡田 泉 (岐阜) 梅津 寛夫 (山形)
 堀 憲三郎 (東京) 三宅 侃二 (岡山) 奥村 泉 (東京)

佛語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生 (九人) (いろは順)
 服部邦光 (長崎) 金光 泰 (大分) 松原常次郎 (東京)
 新原俊秀 (宮崎) 大野若三郎 (神奈川) 宮城大太郎 (千葉)
 歸山信順 (石川) 山内健吉 (岐阜) 鈴木彌次平 (靜岡)

明治三十三年七月第二回別科修了生 (三人) (いろは順)
 井出 彦 (東京) 神谷 哲龍 (愛知) 吉田六之助 (千葉)

明治三十四年七月第三回別科修了生 (三人) (いろは順)
 徳岡梅吉 (鳥取) 上條辰藏 (長野) 三戸頼猷 (山口)

明治三十五年七月第四回別科修了生 (十四人) (いろは順)
 高岩勸次郎 (福岡) 寺島成信 (山形) 齋藤久孝 (兵庫) 白井傳三郎 (長野)
 田村保三 (千葉) 阿部景毅 (宮城) 佐藤純太郎 (石川) 關次郎 (長野)
 岡田武松 (千葉) 有吉秀太 (山口) 三谷氏郎 (香川)
 山下安太郎 (埼玉) 淺井義囀 (愛知) 鹿野岩次郎 (石川)

明治三十六年七月第五回別科修了生 (八人) (いろは順)
 泰 正雄 (三重) 本間重策 (新潟) 吉岡七郎 (東京) 野田爲太郎 (鳥取)

黒島定靜 (高知) 前原準一郎 (群馬) 松原制六 (山口) 齋藤豊作 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生 (十人) (いろは順)
 石津利作 (大阪) 寺澤健二 (愛知) 生野團六 (大分) 菅谷龍平 (東京)
 吉原 開 (東京) 木村 銜 (新潟) 平澤均治 (青森)
 中村平吉 (岩手) 宮崎團治郎 (長野) 日暮 忠 (東京)

明治三十八年七月第七回專修科^(別科)修了生 (六人) (いろは順)
 今道文一郎 (長崎) 岡部 潛 (三重) 崎山刀太郎 (東京)
 池上泰次郎 (長野) 後藤清造 (岩手) 宮部捨藏 (新潟)

明治三十九年七月第八回專修科修了生 (八人) (いろは順)
 小野秀太郎 (茨城) 田島道治 (愛知) 太田喜二郎 (京都) 福尾 昇 (島根)
 梶田謙太郎 (東京) 井上通夫 (東京) 大關久五郎 (青森) 鈴木行三 (群馬)

明治四十年三月第九回專修科修了生 (五人) (いろは順)
 飯守勸一 (佐賀) 渡邊劍之丞 (埼玉) 中島濱三郎 (栃木)
 岡 實 (奈良) 梶川義隆 (東京)

明治四十一年三月第十回專修科修了生 (六人) (いろは順)
 市川節太郎 (石川) 内崎豊一郎 (宮城) 淺野 夏 (茨城)
 池田福松 (大阪) 大島隆吉 (岩手) 平田 稔 (和歌山)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生 (四人) (いろは順)

中山隆吉 (滋賀) 奥山萬次郎 (靜岡) 山口篤郎 (東京) 秋間愛一 (群馬)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (七人) (いろは順)

河本新一 (山口) 松本忠清 (愛媛) 榎本明 (福岡) 三隅禎三郎 (山口)

藪篤磨 (東京) 小林馨 (廣島) 天野政太郎 (東京) (成績順)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (六人) (成績順)

宮村時一郎 (東京) 原基一郎 (靜岡) 山脇義太郎 (兵庫)

杉本伊作 (靜岡) 郡山嘉内 (鹿兒島) 今井吉朝 (神奈川) (成績順)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (七人) (成績順)

加納道生 (大分) 飯島徳次 (埼玉) 富士徳治部 (奈良) 松井九郎 (群馬)

赤羽右 (長野) 杉本連治 (愛知) 小泉真俊 (東京) (成績順)

大正二年三月第十五回專修科修了生 (四人) (成績順)

島村榮之助 (埼玉) 鈴木悦 (愛知) 赤羽秀雄 (福島) 植村家治 (東京)

大正三年三月第十六回專修科修了生 (七人) (成績順)

長松宗一 (福岡) 岡本平 (愛知) 福島兼馬 (高知) 千森市之亮 (東京)

岩永勝典 (長野) 土御門信復 (京都) 山内驚 (福井) (成績順)

大正四年三月第十七回專修科修了生 (十人) (成績順)

田中文勝 (埼玉) 武田外希往 (石川) 物部長穂 (秋田) 山田又市 (新潟)

牧彦七 (大分) 大久保彦藏 (茨城) 入澤一郎 (新潟) 寺田勢造 (兵庫)

山田延壽 (高知) 三雲金藏 (東京) 川崎一 (東京) (成績順)

大正五年三月第十八回專修科修了生 (十一人) (成績順)

難波琢實 (岡山) 阿部壽準 (山口) 武井理三郎 (群馬) 雨田外次郎 (福井)

半田廉次 (東京) 伊東孝一 (東京) 玉越太郎 (東京) 桑原銀二 (福井)

藤江惠輔 (兵庫) 山本犀藏 (兵庫) 川崎一 (東京) (成績順)

大正六年三月第十九回專修科修了生 (十三人) (成績順)

吉澤茂一 (東京) 清岡博見 (岩手) 田中稻三 (群馬) 大谷忠四郎 (福島)

色部貢 (長野) 岡部正一 (兵庫) 加藤鈴三 (愛知)

今岡十一郎 (島根) 米田保 (福岡) 岩崎民平 (山口)

中岡孫一郎 (和歌山) 竹下政之助 (東京) 佐藤大鑑 (廣島) (成績順)

大正七年三月第二十回專修科修了生 (十人) (成績順)

小林徳三郎 (大阪) 高橋好三 (埼玉) 佐久間外二 (石川) 卷島庄之助 (茨城)

高橋三郎 (福岡) 岡村千秋 (長野) 山中樺次郎 (東京)

平田宗胤 (東京) 神谷勇 (三重) 熊谷武 (兵庫) (成績順)

大正八年三月第二十一回專修科修了生

(十五人)

(成績順)

井上堅曹

塚本丈動

北爪益雄

兩角潤

橋爪英夫

丸毛信勝

豐原清雄

戶澤富壽

松坂佐一

柴田勤次

及川文吾

河面繁松

石田旭勝

宮本恒平

中幸田三治郎

(福岡)

大正九年三月第二十二回專修科修了生

(十名)

(ABC順)

林 豐

川島清次

牛山 充

安田鐵之助

帆足元夫

友 海保

山口常光

(長野)

今村和平

内田新造

山崎忠雄

(山口)

大正十年三月第二十三回專修科修了者

(十八名)

(ABC順)

藤定兼衛

小林喜一

森 茂滿

瀨尾乃武

萩野勝二

近田喜藤

長島重次郎

島 久雄

居城 基

熊谷善兵衛

小原 伉

高石 正

金山幾太郎

松岡正一

岡村德治

(高知)

川島清市

三村孝一

太田純一

(愛知)

大正十一年三月第二十四回專修科修了者

(十八名)

(ABC順)

藤本一雄

平川 潔

小林商治

倉石忠一郎

後藤外馬

金森虎男

小山勝利

黒澤浩太郎

前田祥吾

滑川二三郎

田中卓爾

安室俊治郎

三浦仲善

關口光利

田中吉兼

(東京)

森田吉秀

竹居光積

宇田 一

(福島)

大正十二年三月第二十五回專修科修了者

(十八名)

(ABC順)

古川 周

風間久雄

村田道規

進藤常雄

春木忠三郎

木村秀男

西村捨也

竹内竹馬

長谷川 勇

岸 克己

小笠原勇八

梅田真城

池原義見

小島 寛

大島正言

(神奈川)

川喜田三郎

三浦 孝

柴田信次

(兵庫)

大正十三年三月第二十六回專修科修了者

(十八名)

(ABC順)

石川 貞輝

長屋敏郎

關 一雄

高橋 博

伊藤 一

小幡勇二郎

清水市平

辻 善真

伊藤 茂

織田正徳

新庄球生

柳川 昇

岩下周二

老田幸明

曾山瀧雄

(廣島)

加來行雄

坂田太郎

鈴木榮治

(千葉)

大正十四年三月第二十七回專修科修了者

(八名)

(ABC順)

相磯六郎

二味 久

伊東信二

當坂 薰

青木重孝

林 祐三

川鍋正雄

和田 鏡

大正十五年三月第二十八回專修科修了者 (十八名) (ABC順)

別府太郎 (福岡)	岩本正一 (宮城)	大伴峻 (東京)	若松清太郎 (鳥取)
出口一郎 (東京)	金生敏尙 (福岡)	佐藤昌 (長野)	山口隆一 (東京)
長谷川一郎 (青森)	宮田幸一 (山梨)	柴田麟 (愛知)	除村一學 (群馬)
長谷川敏正 (岐阜)	新宮行太 (長崎)	申文休 (朝鮮)	
伊藤祐全 (長野)	西川秀音 (愛知)	鳥山峻 (東京)	

獨語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生 (六人) (いろは順)

田崎復 (東京)	松岡定 (熊本)	澤田義 (神奈川)
中村平作 (新潟)	幸田成友 (東京)	宮田義敬 (東京)

明治三十三年七月第二回別科修了生 (九人) (いろは順)

岩崎牛次 (茨城)	堀常次郎 (岐阜)	歌原兼真 (愛媛)
磯野清助 (東京)	徳永昌美 (東京)	山田又市 (新潟)
今福忍 (神奈川)	中島松次郎 (茨城)	杉山正治 (東京)

明治三十四年七月第三回別科修了生 (八人) (いろは順)

川島庄一郎 (和歌山)	片山外興作 (東京)	乙竹岩造 (三重)	酒井政吉 (石川)
可兒徳 (岐阜)	上田長藏 (京都)	福井久造 (兵庫)	新海吉兵衛 (長野)

明治三十五年七月第四回別科修了生 (十五人) (いろは順)

伊藤弘一 (千葉)	高橋鐘二 (長野)	久保田敬一 (兵庫)	平木安之助 (福岡)
堀與三 (三重)	中條道次郎 (千葉)	工藤武城 (熊本)	樋口兼治 (東京)
折原吉之助 (東京)	中柴鏖三郎 (東京)	菊地房三郎 (大分)	毛利祐吉 (石川)
高原祐治 (大阪)	中島田人 (北海道)	篠田真二 (長野)	

明治三十六年七月第五回別科修了生

(十三人)

(いろは順)

- 伊東泰助 (千葉) 合田壽治 (東京) 黒住靜太 (岡山)
- 伊東榮三郎 (東京) 吉田喜三郎 (茨城) 松崎故一郎 (島根)
- 石崎久吉 (愛媛) 六笠弘躬 (東京) 眞弓眞 (愛知)
- 小倉俊圓 (山口) 大久保直記 (長野) 平島直太郎 (徳島)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(十五人)

(いろは順)

- 石井敏雄 (岡山) 井田豊太 (群馬) 藤本幸太郎 (三重)
- 豊田八十代 (兵庫) 野々部本祐 (東京) 澤山勇三郎 (山口)
- 金田捨吉 (宮崎) 大關久五郎 (青森) 佐藤純之助 (埼玉)
- 田畑梅次郎 (岡山) 山根靜智 (島根) 坂田弘 (千葉)

明治三十八年七月第七回專修科(別科改稱)修了生

(十九人)

(いろは順)

- 伊藤一郎 (東京) 川村丈吉 (千葉) 野島和吉 (東京)
- 石田龜吉 (秋田) 河崎次雄 (長崎) 葛岡陽吉 (宮城)
- 八田敏夫 (福井) 河野義璋 (東京) 矢崎習吉 (兵庫)
- 岡田藤十郎 (愛知) 田中親介 (三重) 小雁連平 (埼玉)
- 小田部家資 (秋田) 中田榮太郎 (東京) 小柳新吉 (新潟)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(十七人)

(いろは順)

- 岡田芳之介 (茨城) 村形東之助 (千葉) 坂本寛次郎 (静岡)
- 吉田令兒 (兵庫) 梅山讓 (群馬) 黄川田茂藏 (岩手)
- 高橋勝 (島根) 近藤耕藏 (神奈川) 湯川直祇 (神奈川)
- 高木清徳 (島根) 近藤茂吉 (京都) 清水澁 (神奈川)
- 永田源一郎 (茨城) 江川惣次 (香川) 平山金作 (愛知)

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十二人)

(いろは順)

- 伊藤金八 (三重) 依田豊 (長野) 倉石眞三 (長野)
- 稻葉宇作 (新潟) 馬上孝太郎 (福島) 矢田鶴之助 (島根)
- 長谷川市松 (岡山) 梅澤條五郎 (東京) 山本鎮三郎 (東京)
- 堀田要三郎 (三重) 海沼博 (長野) 間中綱彦 (東京)
- 本田捨介 (山口) 井浦義久 (福岡) 藤井輝雄 (東京)
- 尾崎錦太郎 (岡山) 奥村文平 (岐阜) 福山一二 (鹿兒島)

明治四十一年三月第十回專修科修了生

(十三人)

(いろは順)

- 亙理繁 (千葉) 椿繁藏 (千葉) 柳澤秀吉 (富山)
- 渡邊次郎 (東京) 成松靜雄 (熊本) 前田弘 (高知)
- 神藏良一 (新潟) 中曾根類造 (群馬) 小池政藏 (長野)
- 高野親雄 (山形) 井上達子 (廣島) 齋藤糸平 (群馬)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生

(十人)

(いろは順)

水谷恭治 (岐阜)

飯海 慎二 (愛知) 加藤 輝光 (埼玉) 内記 茂市 (滋賀) 近藤 只藏 (東京)
 八田 清信 (京都) 高橋 鈴彦 (愛知) 安武 元十郎 (福岡) 胡 以 魯 (清國)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (十二人)

板倉 東海男 (東京) 坪田 熊雄 (福井) 富士 德治郎 (奈良) 鹽澤 直重 (山梨)
 神谷 衡平 (東京) 織田 仙之助 (東京) 荒井 桂三 (東京) 篠原 露太郎 (山梨)
 高山 錄太郎 (東京) 松田 重則 (奈良) 水田 泰太郎 (東京) 下山田 正純 (秋田)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (十四人)

周 家 彦 (清國) 上原 博聞 (山梨) 沓掛 斧次郎 (長野) 馬場 時藏 (埼玉)
 福田 勝治 (埼玉) 竹島 茂郎 (三重) 宇津 忠萬 (東京) 三好 喜和 (富山)
 佐々木 啓介 (福井) 山本 孝太郎 (和歌山) 安部 藤治 (大分) 安彦 啓次郎 (北海道)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (十八人)

村上 瑚磨雄 (岡山) 松橋 達生 (青森) 島岡 浩一郎 (群馬) 坂岡 良臣 (東京)
 原田 親雄 (北海道) 永山 武美 (北海道) 氏家 孝次郎 (宮城) 庄司 又三郎 (宮城)
 水谷 英保 (東京) 西岡 定太郎 (高知) 伊藤 清一 (愛知) 池田 隆平 (新潟)
 石堂 貞 (鹿兒島) 山田 平七 (京都) 前澤 清助 (長野) 渡邊 義男 (山梨) 村田 辰三 (静岡) 田邊 定吉 (北海道)

大正二年三月第十五回專修科修了生 (十二人)

森 忠藏 (東京) 武田 外希往 (石川) 松本 照吉 (高知) 鹽田 興吉 (群馬)
 小寺 昌 (京都) 濱田 章 (埼玉) 小島 德太郎 (東京) 西本 直民 (東京)
 石川 鼎 (北海道) 山田 嘉一 (愛知) 曾我 奎祐 (岐阜) 溝淵 兼次 (東京)

大正三年三月第十六回專修科修了生 (十七人)

谷 喜一郎 (東京) 白井 龜吉 (千葉) 鹿野 澄 (鳥取) 小島 仁作 (大分)
 横田 千秋 (兵庫) 大塚 小郎 (山形) 鹿兒島 茂 (福岡) 細野 角太 (群馬)
 大村 清一 (岡山) 林 嘉保 (長野) 岩田 文吉 (京都) 岩本 民徳 (鳥取)
 砂山 角野 (新潟) 小林 來三 (山口) 岩本 民徳 (鳥取) 相川 直吉 (群馬)
 進藤 千之助 (兵庫) 三條 商太郎 (東京)

大正四年三月第十七回專修科修了生 (十七人)

西村 綱 (島根) 下村 安次郎 (佐賀) 加藤 光三 (東京) 角田 清彦 (熊本)
 猪俣 津南雄 (新潟) 井 芹 繼志 (熊本) 古内 熊太郎 (宮城) 居合 鉦一郎 (長野)
 増田 透 (東京) 齋 藤 修 (岡山) 川村 久治郎 (福井) 桑田 福太郎 (廣島)
 北澤 種一 (長野) 谷田 澤隆甫 (静岡) 柴田 孝一 (東京)

大正五年三月第十八回專修科修了生 (十五人)

(成績順)

甲斐直喜 (東京)	東室英夫 (東京)	御園生嘉二 (山口)	畑馬治郎 (東京)
鈴木重春 (東京)	鈴木習之 (千葉)	松井佳一 (山口)	熊谷武 (兵庫)
柳島錢一 (愛知)	武田清三 (大阪)	黒柳謙吉 (岐阜)	鮫島近二 (鹿兒島)
村上信三 (大阪)	納五平 (兵庫)	井内豊 (千葉)	

大正六年三月第十九回專修科修了生

(十五人) (成績順)

山本鹿太郎 (神奈川)	關文圭 (長野)	寺田正中 (茨城)	金子從次 (東京)
丸毛信勝 (大分)	石川重吉 (愛知)	齊藤保次 (千葉)	眞宮幸之助 (京都)
秋葉隆 (千葉)	湯淺次三郎 (富山)	中山徳治 (福島)	河野嘉六 (廣島)
西池正顯 (福井)	岩崎憲 (北海道)	岡田彌一郎 (東京)	

大正七年三月第二十回專修科修了生

(十人) (成績順)

池端榮 (静岡)	阿部徳三郎 (北海道)	酒井光義 (東京)	荒木榮次郎 (廣島)
伊藤宗一郎 (長野)	中原壽一郎 (長野)	岡中周市 (山口)	
鎌谷十郎 (新潟)	松岡益雄 (熊本)	林藤三郎 (滋賀)	

大正八年三月第二十一回專修科修了生

(十八人) (成績順)

岡村梧桐太 (東京)	石丸源次郎 (佐賀)	長尾昌平 (香川)	黃祐日 (朝鮮)
大槻喬 (兵庫)	岡村喜代策 (埼玉)	長谷川得太郎 (愛知)	長野小伊三郎 (岐阜)
大澤忠光 (東京)	宮本寅平 (福岡)	濱口末喜 (大阪)	西澤信三 (長野)
武田正雄 (岡山)	山本憲太郎 (静岡)	松隈吉郎 (佐賀)	
加藤述之 (東京)	岩月定次 (愛知)	大津千丈 (宮城)	

大正九年三月第二十二回專修科修了生

(十五人) (ABC順)

足木十郎 (愛知)	加藤聰郎 (三重)	鬼釜繁 (熊本)	立田義夫 (東京)
原田雄一 (新潟)	小林商治 (北海道)	坂井俊三郎 (長野)	内沼武雄 (福島)
磯部節次 (山口)	中野宗治 (長野)	寶田通元 (東京)	渡邊虎太 (岡山)
岩間縁郎 (青森)	直江光次 (新潟)	谷口市太郎 (福岡)	

大正十年三月第二十三回專修科修了生

(二十一名) (ABC順)

阿部眞 (福島)	三宅當時 (東京)	大倉武一 (大阪)	山城誠止 (宮城)
相澤與田 (神奈川)	中村武 (千葉)	押田武夫 (新潟)	養田隆一 (和歌山)
古屋諦道 (東京)	西室貴義 (山梨)	鹽澤誠 (宮城)	吉岡友雄 (長崎)
石黒誠一 (東京)	萩原太郎 (長野)	竹内甲子二 (静岡)	
金子源一郎 (東京)	小城末喜 (大分)	戸田哲次郎 (鳥取)	
岸谷貞治郎 (大阪)	小野竹次 (長野)	坪田幸之 (福井)	

大正十一年三月第二十四回專修科修了生

(十三名) (ABC順)

赤崎茂信 (香川)	笠倉英之助 (廣島)	庄司好彰 (山形)	山下武雄 (群馬)
秋山直太郎 (東京)	布川二郎 (東京)	高橋正彦 (廣島)	
井上宗助 (東京)	柴田周吉 (福岡)	高下和義 (神奈川)	
石井増太郎 (神奈川)	申文休 (朝鮮)	牛山充 (長野)	

大正十二年三月第二十五回專修科修了生

(十六名) (ABC順)

專修科修了者 獨語部

縣	清 (靜岡)	古澤源刀 (東京)	松岡憲壽 (鳥取)	高橋柳太 (長野)
蘆澤	忠治 (山梨)	本莊精一 (山梨)	西山重道 (長野)	梅本豐吉 (東京)
竹馬	長三 (東京)	川原田幸 (岩手)	野間貞規 (廣島)	若林鶴三郎 (神奈川)
藤林	次郎 (青森)	黒澤清 (茨城)	長田綱彦 (兵庫)	渡邊多郎 (岡山)

大正十三年三月第二十六回專修科修了者 (十七名) (ABC順)

長谷川	忠平 (山梨)	菊池喜久太郎 (東京)	大幸喜三郎 (福島)	富田熊雄 (福岡)
星野	豊秋 (三重)	森敬之 (兵庫)	酒井又夫 (東京)	矢浪李一 (富山)
池田	鎮男 (東京)	森口和夫 (三重)	關敬吾 (長崎)	
今澤	武人 (大分)	中山佐太郎 (茨城)	白木萬里 (岐阜)	
金子	寅四郎 (東京)	小川雅次 (山口)	谷口忠 (大分)	

大正十四年三月第二十七回專修科修了者 (二十五名) (ABC順)

新井	鹿之助 (埼玉)	堀口五郎 (岡山)	小松芳喬 (東京)	齋藤夏雄 (宮城)
赤井	知洗 (奈良)	今泉幾三郎 (神奈川)	前田元四郎 (青森)	副島民雄 (佐賀)
青木	庄太郎 (群馬)	石見進 (福井)	松本久夫 (佐賀)	横田安二 (愛知)
土井	竹治 (兵庫)	上村保 (東京)	松下金雄 (愛知)	横山周次 (徳島)
長谷川	一郎 (青森)	川村武夫 (神奈川)	大淵彰三 (島根)	
長谷川	新三 (東京)	北川一郎 (北海道)	小川安朗 (長野)	
旗手	喜平 (東京)	小島太郎 (東京)	齋藤葵 (徳島)	

大正十五年三月第二十八回專修科修了者 (十三名) (ABC順)

新井	正治 (長野)	伊藤安二 (山形)	中村喜久夫 (三重)	柴山賜郎 (茨城)
船橋	通 (神奈川)	金井征三郎 (東京)	中曾根正平 (長野)	
船田	哲 (栃木)	木下勇 (東京)	小島不二雄 (新潟)	
市川	繁彌 (長野)	宮司眞澄 (山口)	奥西平三 (大阪)	

露語學科

- 明治三十二年七月第一回別科修了生 (二人) (いろは順)
- 田中興五郎 (大阪) 深井才治 (新潟)
- 明治三十三年七月第二回別科修了生 (三人) (いろは順)
- 岡部重一郎 (東京) 松尾長之助 (佐賀) 佐伯迅二郎 (和歌山)
- 明治三十四年七月第三回別科修了生 (二人) (いろは順)
- 長野豊彦 (大分) 酒井恒矢 (山形)
- 明治三十五年七月第四回別科修了生 (五人) (いろは順)
- 稻澤珍三郎 (宮崎) 久保田兵一 (北海道) 木下 蕃 (福井)
- 大倉勳夫 (山形) 軍地五郎 (茨城)
- 明治三十六年七月第五回別科修了生 (八人) (いろは順)
- 市川謙三 (東京) 奥野幸吉 (兵庫) 村上常郎 (宮城) 干 沖 漢 (清國)
- 鳥居 博 (福島) 竹内彌惣次 (三重) 村井英一郎 (岐阜) 松平庄九郎 (東京)
- 明治三十七年七月第六回別科修了生 (六人) (いろは順)

- 原田三平 (山口) 中川正雄 (兵庫) 藤井十四三 (山口)
- 岡田貞作 (新潟) 村山丑松 (新潟) 三宅福馬 (高知)

明治三十八年七月第七回專修科(別科改稱)修了生 (六人) (いろは順)

- 根津鹿之助 (千葉) 中瀬覺次郎 (富山) 山徳貫之輔 (東京)
- 成瀬正義 (香川) 大友義勝 (東京) 間瀬越彌 (北海道)
- 明治三十九年七月第八回專修科修了生 (二人)

細野正文 (新潟)

明治四十年三月第九回專修科修了生 (七人) (いろは順)

- 石橋則隆 (福岡) 高橋忠一 (石川) 上野信孝 (東京) 疋田盛一 (東京)
- 金森輝夫 (岐阜) 竹内嘉兵衛 (東京) 駒田彌四郎 (三重)

明治四十一年三月第十回專修科修了生 (六人) (いろは順)

- 劉 用 靜 (清國) 山科 久 (栃本) 松信春之輔 (茨城)
- 健和田 專太郎 (神奈川) 松井英一 (宮城) 宮崎友次郎 (東京)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生 (三人) (いろは順)

- 山本眞太郎 (静岡) 荒木頼吉 (東京) 菅川太郎 (山口)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (五人) (いろは順)

石龜守人 (岩手) 中野力太郎 (東京) 佐治喜一 (福島)

加藤盛三 (三重) 中島平 (福井) (成績順)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (四人) (成績順)

大森鐵三 (愛知) 竹島響一 (山口) 前田儀作 (東京) 遠藤宗一 (三重)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (三人) (成績順)

岡見潤吉 (京都) 瀧文宣 (香川) 梅澤銀造 (宮城) (成績順)

大正二年三月第十五回專修科修了生 (三人) (成績順)

尾瀨敬止 (京都) 黒石信一 (東京) 長谷部照伍 (神奈川) (成績順)

大正四年三月第十六回專修科修了生 (二人) (成績順)

關餘作 (北海道) 神田榮 (山口) (成績順)

大正五年三月第十七回專修科修了生 (四人) (成績順)

桑木崇明 (東京) 玉木時哉 (新潟) 外山高一 (東京) 渡邊勝太郎 (東京)

大正六年三月第十八回專修科修了生 (六人) (成績順)

原久一郎 (新潟) 中村真之助 (東京) 恒川助次郎 (愛知) 波邊秀一 (東京)

岡部直三郎 (廣島) 中村正明 (埼玉) (成績順)

大正七年三月第十九回專修科修了生 (十二人) (成績順)

佐々木嘉吉 (愛媛) 大高義尾 (東京) 田代己代次 (東京) 鈴木光三郎 (福島)

須田正繼 (山梨) 茂呂憲吉 (東京) 香川正雄 (岡山) 檜垣春三 (廣島)

白石實三 (群馬) 岡上守道 (高知) 松本欽一郎 (佐賀) 横本榮一 (岡山)

大正八年三月第二十回專修科修了生 (八人) (成績順)

田淵誠一 (東京) 關部正一 (岐阜) 田島彰 (愛知) 川井田尙 (鹿兒島)

茂木剛三郎 (東京) 關矢恕一 (新潟) 大塚清 (兵庫) 星榮三郎 (宮城)

大正九年三月第二十一回專修科修了生 (六人) (ABC順)

秋本宗市 (山口) 清見博見 (岩手) 永井誠也 (京都)

飯田武英 (東京) 草野成一 (福岡) 山縣竹志 (東京)

大正十年三月第二十二回專修科修了生 (九名) (ABC順)

藤田純三 (三重) 中村禱 (山梨) 鈴木孝敬 (東京)

布施政信 (東京) 大友忠五郎 (岩手) 高橋好三 (埼玉)

峰須賀寛雄 (徳島) 白石信親 (熊本) 高桑榮祐 (富山)

大正十一年三月第二十三回專修科修了生 (十二名) (ABC順)

藤井三吉 (群馬) 福岡正生 (北海道) 袋一平 (東京) 岩本嘉一 (青森)

北島 守 (静岡)	名越 修 (東京)	澤 宣治 (東京)	植松茂雄 (大阪)
松元國治 (鹿兒島)	佐野 英 (山梨)	武山十一夫 (東京)	山崎嘉兵衛 (東京)
大正十二年三月第二十四回專修科修了者 (八名) (ABC順)			
古屋 謙道 (東京)	伊藤 賢一 (東京)	小島長一郎 (東京)	中山 貫一 (鹿兒島)
原 進四郎 (山梨)	加唐 謙吉 (東京)	三浦日出雄 (青森)	中澤 茂男 (山口)
大正十三年三月第二十五回專修科修了者 (十七名) (ABC順)			
阿部 英明 (東京)	久々港 興一郎 (北海道)	奥田 貞壽 (愛知)	高橋 正彦 (廣島)
朝野 通 (鹿兒島)	松 永正康 (福島)	稅 所基彦 (鹿兒島)	牛山 充 (長野)
石田武平治 (静岡)	宗澤 茂三郎 (北海道)	佐山慶次郎 (栃木)	山田 虎一 (山口)
伊藤 清忠 (大阪)	布川 學而 (新潟)	申 文 休 (朝鮮)	吉田 秀一 (東京)
小林 實 (福島)	大正十四年三月第二十六回專修科修了者 (十一名) (ABC順)		
青山 猛 (愛知)	間 庭 秀文 (東京)	大關 隆文 (新潟)	山口 省三 (新潟)
島中 象男 (廣島)	大石 勝郎 (東京)	島村 米藏 (埼玉)	吉山 盛 (熊本)
堀井 源助 (東京)	大西 久雄 (東京)	島内 志剛 (高知)	
大正十五年三月第二十七回專修科修了者 (九名) (ABC順)			
出村 良一 (愛知)	小林 次男 (東京)	四川 勇 (福井)	
池田 博 (北海道)	日下部 武雄 (岡山)	岡野 他家夫 (富山)	
北島 隆二 (大阪)	松本道比古 (三重)	大野 巳之助 (東京)	

伊 語 學 科

平松 幾比古 (和歌山)	明治三十四年七月第一回別科修了生 (一人)
森田 鐵三郎 (新潟)	明治三十五年七月第二回別科修了生 (一人)
菅野 眞 (宮城)	明治三十六年七月第三回別科修了生 (一人)
佐々木 喜市 (大阪)	明治四十五年三月第四回專修科修了生 (一人)
下位 春吉 (東京)	大正三年三月第五回專修科修了生 (一人)
柳 英 一郎 (新潟)	大正四年三月第六回專修科修了生 (一人)
	大正五年三月第七回專修科修了生 (一人)

伊東廣雄 (長野) — (三人) (成績順)
 大正六年三月第八回專修科修了生
 井岡邦雄 (東京) — 瀧澤直七 (栃木) — (三人) (成績順)
 大正七年三月第九回專修科修了生
 牛山 充 (長野) — 中岡彌高 (岡山) — 坂本竹藏 (東京) — (三人) (ABC順)
 大正九年三月第十回專修科修了生
 林 竹次郎 (東京) — 今關達也 (千葉) —

西語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生 (三人) (いろは順)
 渡邊 清 (東京) — 津田弘季 (岡山) —
 明治三十三年七月第二回別科修了生 (一人)
 堀口福彦 (岡山) —
 明治三十四年七月第三回別科修了生 (二人)
 鈴木三郎 (千葉) —
 明治三十八年七月第四回專修科(別科改稱)修了生 (五人) (いろは順)
 伊藤恒太郎 (山口) — 齋藤惣吉 (山口) — 進藤信雄 (群馬) —
 X大塚 修 (愛媛) — 眞田五十吉 (東京) —
 明治四十年三月第五回專修科修了生 (五人) (いろは順)
 橋本 靜 (滋賀) — 片山 謙 (徳島) — 宮崎信造 (福岡) —
 加藤順之介 (茨城) — 大野基尙 (大分) —
 明治四十一年三月第六回專修科修了生 (三人) (いろは順)

緒田原重雄 (福岡) — 加毛 肇 (三重) — 吾妻捨吉 (宮城) —

明治四十二年三月第七回專修科修了生 (二人) (いろは順)

國久作之助 (福井) — 杉本 精 (東京) —

明治四十三年三月第八回專修科修了生 (五人) (いろは順)

富田義男 (福島) — 若林 高彦 (愛知) — 鈴木眞靜 (兵庫) —

尾崎光美 (宮崎) — 田山 保世 (東京) — (三人) (成續順)

大正二年三月第九回專修科修了生

駒崎秀胤 (兵庫) — 齋藤準平 (宮城) — 田代己代次 (東京) —

大正十一年三月第十回專修科修了者 (九名) (ABC順)

淺川一衛 (廣島) — 來生鐵彌 (山形) — 中野哲雄 (鹿兒島) —

石井重正 (茨城) — 日下部川勝 (宮城) — 岡本良知 (富山) —

加藤忠八 (新潟) — 長島壽義 (東京) — 高瀬房吉 (福島) —

大正十二年三月第十一回專修科修了者 (四名) (ABC順)

淺見泰一 (北海道) — 中馬 隆 (鹿兒島) — 濱田茂實 (和歌山) —

大正十三年三月第十二回專修科修了者 (十五名) (ABC順)

淺田高男 (長崎) — 出口 一郎 (東京) — 藤岡武雄 (東京) —

服部寅雄 (福岡)

磯田 勝 (兵庫) — 嶺川日出男 (佐賀) — 成富信敏 (佐賀) — 山本軍治郎 (滋賀)

北浦靜彦 (奈良) — 百瀬熊雄 (東京) — 下川義忠 (東京) — 江中幸嗣 (東京)

正木達二 (東京) — 武藤原太 (東京) — 土屋春夫 (静岡)

大正十四年三月第十三回專修科修了者 (六名) (ABC順)

古屋英男 (東京) — 松永聰司 (群馬) — 中川清澄 (和歌山) —

加藤芳男 (東京) — 永見高治 (東京) — 竿田秀直 (兵庫) —

大正十五年三月第十四回專修科修了者 (四名) (ABC順)

堀内 勝 (東京) — 片山量平 (長崎) — 京谷補佐 (秋田) — 二階堂 勤 (新潟)

葡語學科

大正七年三月第一回專修科修了生 (四人) (成績順)
 十川成一 (山口) 副島五十二 (東京) 山崎幾平 (靜岡) 石原昌榮 (北海道)
 大正八年三月第二回專修科修了生 (二人) (成績順)
 笠井鎮夫 (岡山) 大西浩太 (岡山)

支那語學科

(舊稱清語學科 大正二年改正)

明治三十二年七月第一回別科修了生

(六人) (いろは順)

泉水信太郎 (千葉) 加納政太郎 (東京) 坂野竹之助 (茨城)
 小川運平 (埼玉) 鎌田彌助 (鹿兒島) 日高賢吉郎 (長崎)

明治三十三年七月第二回別科修了生

(七人) (いろは順)

龜山玄明 (岐阜) 田中慶太郎 (京都) 大久保家道 (東京) 佐藤長次郎 (埼玉)
 高岩勘次郎 (福岡) 中島比多吉 (埼玉) 福崎三次郎 (鹿兒島)

明治三十四年七月第三回別科修了生

(十七人) (いろは順)

稻澤珍三郎 (宮崎) 成田文太夫 (宮城) 大久保宜家 (東京) 白藤芳夫 (東京)
 岡田 颯 (長野) 中田金次郎 (東京) 菊地三九郎 (東京) 關 菊麿 (京都)
 小澤銀十郎 (長野) 村上久吉 (東京) 菊川龜次郎 (熊本)
 唐澤祐慶 (東京) 大橋末彦 (東京) 岸 峰治郎 (鳥取)
 高比良勝二 (長崎) 太田 繁 (東京) 皆川秀孝 (茨城)

明治三十五年七月第四回別科修了生

(十一人) (いろは順)

田中政吉 (兵庫) 黒澤兼次郎 (富山) 兒玉 純 (鹿兒島) 秋吉英三 (東京)
 宅野 潔 (山口) 桑原壽一 (山口) 遠藤三藏 (兵庫) 菊地 崇 (茨城)
 村田鐵三郎 (愛媛) 松井英一郎 (岐阜) 赤澤宇之助 (鹿兒島)

明治三十六年七月第五回別科修了生

(十三人)

(いろは順)

吉田與三郎 (滋賀)

奥田 猛 (兵庫)

淺井周治 (愛媛)

菅沼佐喜男 (三重)

芳野五郎 (東京)

山田茂三郎 (富山)

北村一郎太 (長崎)

仲西次郎 (福岡)

古谷鐵之助 (東京)

宮越健太郎 (新潟)

中川四郎 (愛媛)

小池英次 (福島)

須賀幸太郎 (群馬)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(十二人)

(いろは順)

入澤 豐 (東京)

角田松次郎 (群馬)

井上 翠 (兵庫)

清水 知 (愛知)

金田雄次 (静岡)

長澤 貞 (栃木)

太田貞吉 (東京)

椎野榮一 (新潟)

只野重次郎 (宮城)

兼順平治 (島根)

今 逸郎 (青森)

鈴木仁四郎 (栃木)

明治三十八年七月第七回專修科(別科改稱)修了生十九人

(十九人)

(いろは順)

岩村成中 (千葉)

和田貫一郎 (東京)

山崎成太郎 (奈良)

新井信次 (東京)

石原新七 (埼玉)

田淵清一兵衛 (徳島)

松本義圓 (廣島)

天野准一 (愛知)

西田周平 (富山)

字井 英 (東京)

卷雄四郎 (東京)

安藤堅次 (岐阜)

岡山周藏 (兵庫)

草場 力 (愛知)

福田 勇 (岐阜)

森山徳助 (島根)

荻島四三二 (東京)

山野井虎市 (東京)

青木金太郎 (奈良)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(十七人)

(いろは順)

遠山吉之介 (愛知)

小澤銀次郎 (東京)

津田 榮 (大阪)

小林代次郎 (東京)

鹿永政一 (山口)

川橋正次郎 (京都)

久保清吉 (廣島)

小林源造 (東京)

富田康平 (静岡)

加藤庸三 (群馬)

福田清一 (群馬)

遠藤重男 (福岡)

寺境 彌 (東京)

齋藤伊右衛門 (東京)

木下茂雄 (東京)

荒川 徳一 (東京)

佐々木三利 (福井)

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十四人)

(いろは順)

伊藤東一郎 (岩手)

小山義 龜 (福岡)

黒田茂八 (富山)

湯山半兵衛(神奈川)

池田色太郎 (山形)

龜山 猛 治(北海道)

山本寅雄 (東京)

行岡 宇多之助 (東京)

濱野萬吉 (東京)

上遠野 武 (宮城)

福田英治 (埼玉)

庄田規矩郎 (東京)

長谷川 豊男 (埼玉)

浦田 二郎 (東京)

近藤菊雄 (富山)

下平 晋 (長野)

西島徳太郎 (東京)

大野 登實吉 (宮崎)

朝比奈泰吉 (兵庫)

守田藤之助 (東京)

小川吉之助 (東京)

大野 郷夫 (東京)

木村重藏 (福島)

關根富貴男 (東京)

明治四十一年三月第十回專修科修了生

(十六人)

(いろは順)

今藏熊太郎 (東京)

山田鎌次郎 (新潟)

酒葉道信 (東京)

三木宗太郎 (徳島)

村田友三郎 (栃木)

松脇正昇 (東京)

三枝一郎 (東京)

樋口 鐵六 (東京)

植田 一夫(神奈川)

後藤 勢一 (香川)

鯨島時 應(鹿兒島)

森 徳次郎 (静岡)

栗山 勝正 (山口)

手塚 武義 (山梨)

水谷一之亮 (三重)

杉本吉五郎 (東京)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生

(十三人)

(いろは順)

新島 謙吉 (東京)

中川 好助 (静岡)

山田久太郎 (富山)

菅 真人 (愛知)

神谷 豊左衛門 (愛知)

中山 忠 次(和歌山)

山根 藤七 (島根)

高橋貞之助 (東京)

長崎 元 一 (東京)

齊藤清俊 (秋田)

中路留吉 (福島)

村田春江 (千葉)

菱伊新三郎 (宮城)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (十人)

(いろは順)

市川保一 (東京) 脇川文近 (長崎) 矢部力雄 (群馬) 宮崎太郎 (東京)
今井健彦 (静岡) 内藤繁治 (東京) 山田萬助 (東京)
秩父固太郎 (東京) 中村米壽 (長野) 小池二郎 (東京)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (十人)

(成績順)

長谷部 巖 (岐阜) 太田資事 (茨城) 杉山喜平 (大阪) 岡松象雄 (大分)
片桐 靖 (新潟) 竹内源次郎 (福岡) 加藤建次郎 (愛知)
島田一郎 (埼玉) 中村三藏 (香川) 今井仁平 (兵庫)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (六人)

(成績順)

荒井 恰 (愛知) 吉田壽三郎 (熊本) 櫻庭 巖 (青森)
濱中直樹 (静岡) 牧野謙太郎 (愛知) 門馬福之進 (福島)
大正十二年三月第十五回專修科修了生 (十二人)

(成績順)

菊池篤三 (千葉) 中川 宮 (神奈川) 林 林之介 (東京) 兒玉豪雄 (廣島)
小山清次 (東京) 内田松三郎 (愛知) 原田三平 (山口) 石田 力 (東京)
志摩 英 (神奈川) 山寺吉之助 (千葉) 奥山 巖 (大阪) 時田傳左衛門 (埼玉)

大正十三年三月第十六回專修科修了生 (四人)

(成績順)

貴志正雄 (和歌山) 高橋 弘 (東京) 坪倉俊之助 (群馬) 長江信之助 (栃木)

大正九年三月第十七回專修科修了生 (六人)

(ABC順)

藤澤的一 (大分) 守谷武文 (東京) 敷納兵治 (富山)
金森貞介 (愛知) 篠原 利 (山梨) 竹村虎之助 (東京)

大正十年三月第十八回專修科修了生 (七名)

(ABC順)

飯田隆治 (東京) 黒岩幸男 (群馬) 佐藤昇衛 (新潟) 田代己代次 (東京)
小山 豊 (東京) 松浦珪三 (長崎) 田中 豊 (愛知)

大正十一年三月第十九回專修科修了生 (九名)

(ABC順)

藤井啓二 (富山) 中原仁平 (鳥取) 鈴木榮助 (東京)
北川參治 (岐阜) 大出唯造 (栃木) 田村誠意 (東京)
橋川昌吉 (神奈川) 大森常勝 (愛媛) 鳥居利三郎 (京都)

大正十二年三月第二十回專修科修了生 (十名)

(ABC順)

遠藤正武 (東京) 稻垣茂雄 (滋賀) 西久保孝愛 (東京) 大塚 輔 (廣島)
日北谷武之助 (東京) 久保勝春 (福岡) 乃萬 徹 (愛媛)
堀田四郎 (京都) 松本信次 (東京) 小野寺榮助 (東京)

大正十三年三月第二十一回專修科修了生 (二十二名)

(ABC順)

有元精一 (岡山) 平井 清 (宮城) 稻熊輝一 (東京) 紙谷瑞賢 (富山)
古川徳次郎 (福岡) 保坂保太郎 (神奈川) 石垣純一 (香川) 金川耕作 (福島)

木村彦一郎 (岐阜) 長澤規矩也 (東京) 齊藤正敏 (宮城) 土谷 潔 (北海道)
 北原源一郎 (長野) 大越榮次郎 (秋田) 關 芳磨 (福岡) 内野昇一 (長崎)
 松田昌壽 (福岡) 小沼福松 (茨城) 菅原米治郎 (福井)
 松岡義雄 (愛媛) 大塚外次郎 (富山) 須永彰三 (栃木)
 大正十四年三月第二十二回專修科修了者 (六名) (ABC順)
 茶谷忠治 (兵庫) 加藤和作 (東京) 永井誠也 (京都)
 林 太郎 (東京) 川瀬侍郎 (富山) 佐藤逸夫 (神奈川)
 大正十五年三月第二十三回專修科修了者 (八名) (ABC順)
 橋本武雄 (東京) 岸木農武郎 (岡山) 松岡道郎 (岐阜) 李 丙 義 (朝鮮)
 金子英輔 (群馬) 香田彦太郎 (佐賀) 門田茂樹 (廣島) 湯淺正一 (鹿兒島)

朝鮮語學科 (舊稱韓語學科) 明治四十四年一月改稱

明治三十四年十月第一回別科修了生 (一人)

井上安次郎 (京都)

明治三十九年七月第二回專修科(別科改稱)修了生 (五人) (いろは順)

岡本樽之助 (東京) 村木 漁 (三重) 杉原惣太郎 (福島)
 七邊格太郎 (岡山) 比佐祐次郎 (秋田)

明治四十年三月第三回專修科修了生 (一人)

新納賢司 (東京)

明治四十一年三月第四回專修科修了生 (二人) (いろは順)

岸上靜民 (愛知) 宮崎道雄 (三重)

明治四十二年三月第五回專修科修了生 (二人) (いろは順)

大谷任功 (福島) 三宅知之 (東京)

明治四十三年三月第六回專修科修了生 (四人) (いろは順)

多田 闇 (鳥取) 田村京吉 (岩手) 有山謙藏 (埼玉) 三好春雄 (東京)

明治四十四年三月第七回專修科修了生 (二人) (成績順)

青木正春 (山口) 大橋 矩 (東京)

明治四十五年三月第八回專修科修了生 (三人) (成績順)

藤田 勇(鹿兒島) 南 文止 (大分) 山根 藤七 (島根)

速成科修了者

伊語部

大正十一年三月第一回修了者

(十二名) (ABC順)

平谷順三 (三重) 杵淵 勇 (長野)
池野寅三 (東京) 小島齊志 (愛媛)
神原 泰 (東京) 高興 澤 (朝鮮)

增井芳男 (靜岡) 田代己代次 (東京)
長野時雄 (滋賀) 荻森直喜 (東京)
大野信三 (東京) 渡邊紳一郎 (島取)

大正十三年三月第二回修了者

(六名) (ABC順)

喜安貞雄 (愛媛) 梨岡壽男 (香川)
永井誠也 (京都) 西原始郎 (東京)

大川勝受 (靜岡)
關 武思 (福島)

大正十五年三月第三回修了者

(十二名) (ABC順)

藤城龍三 (岡山) 久保田 弘(北海道)
旗手國廣 (東京) 窪田靜雄 (鳥取)
岸 克己 (群馬) 工藤 信 (大分)

森川宣夫 (東京) 大村吾一 (福岡)
森川謙規 (熊本) 田端芳太郎 (東京)
中島清夫 (東京) 戸田保忠 (茨城)

西語學科

大正三年三月第一回修了生

大須 勝 (東京) 德原 寬一 (德島)
中西 毅 (北海道) 犬伏 康平 (德島)

(五人) (成績順)

岩淵 繁樹 (東京)

大正四年三月第二回修了生

山田 鐵彦 (大阪) 菊地 治三郎 (愛媛)
加畑 伊輔 (京都) 門林 安郎 (大阪)
久保田 昇 (長崎) 服部 定雄 (三重)

(九人) (成績順)

本多 次郎 (三重)
鈴木 亨三 (三重)
野田 茂一郎 (熊本)

大正五年三月第三回修了生

十川 成一 (山口) 樋 畑 正己 (東京)
濱崎 龜太郎 (東京) 渡部 登 (島根)
松平 繁 (東京) 有地 了三 (廣島)

(九人) (成績順)

黑石 元次 (山口)
姫井 昇一 (岡山)
中島 直己 (東京)

葡語部

大正十年三月第一回修了者

阿部 彌門 (山形) 笠井 梧樓 (山梨)
林田 德彌太 (長崎) 小松 操 (山形)

(六名) (ABC順)

中川 勇藏 (山形)
大村 實 (熊本)

大正十四年三月第二回修了者

(六名) (ABC順)

安立 綱光 (東京) 中澤 二郎 (東京)
石津 雄彦 (廣島) 佐久間 庸 (東京)

高木 清一 (東京)
瀧尾 増夫 (東京)

大正十五年三月第三回修了者

(三名) (ABC順)

石本 久治 (北海道) 小坂 俱成 (山口)

内海 政二 (東京)

支那語學科

大正三年三月第一回修了生

(九人) (成績順)

戸川 健三 (大阪) 山口 勝也 (神奈川)
伊藤 時雄 (長野) 塚越 島十郎 (群馬)
荒井 敏郎 (德島) 渡邊 紀平 (新潟)

大久保 喜重治 (岩手)
千坂 保臣 (東京)
岡野 庄藏 (東京)

大正四年三月第二回修了生

(八人) (成績順)

渡邊 哲 (茨城) 河相 街 (朝鮮)
小玉 英一 (愛知) 尹 亮 求 (朝鮮)
豐島 五六 (東京) 木下 淺吉 (佐賀)

土井 豊 (愛媛)
下川 末市 (長崎)

大正五年三月第三回修了生

(十三人) (成績順)

米村 滿男 (熊本) 廣瀬 主殿 (山梨)
衛藤 忠雄 (大分) 大丸 鐵太郎 (東京)
雨宮 正雄 (愛知) 水坂 貞雄 (愛知)
森 忠雄 (愛知) 森脇 忠敏 (埼玉)

長島 五三郎 (兵庫) 鈴木 辰太郎 (栃木)
恒川 泰次 (奈良)
多田 慶明 (愛媛)
木原文 彌 (滋賀)

大正六年三月第四回修了生

(十四人)

(成績順)

田邊桑三郎 (島根) 菱沼文二 (宮城)
柏木 榮 (兵庫) 今關達也 (千葉)
寺村豊次郎 (滋賀) 板倉與三郎 (熊本)
德久虎之助 (佐賀) 平井 清 (宮城)

村江汎之 (鳥取) 平野賢吉 (千葉)
竹中京太郎 (東京) 川尻 忠 (秋田)
青木金之助 (東京)
大倉明三郎 (東京)

大正七年三月第五回修了生

(九人)

(成績順)

池田佐久馬 (長崎) 成島武八 (茨城)
石山陽三 (埼玉) 松山悦次郎 (愛知)
中川敬治 (京都) 大和田藤馬 (福島)

清島重徳 (東京)
柳澤五郎 (長野)
伊部唯一 (福井)

蒙古語部

大正十一年三月第一回修了者

(一名)

渡邊卯一郎 (新潟)

大正十三年三月第二回修了者

(五名)

(ABC順)

久保寺逸彦 (山梨) 高綱信吉 (新潟)
高師泰治 (千葉) 寺正利光 (東京)

内田 翠 (愛知)

大正十四年三月第三回修了者

(四名)

(ABC順)

林 文雄 (長崎) 柿原熊一 (愛媛)

長澤矩規也 (東京) 田端芳太郎 (東京)

馬來語部

大正十年三月第一回修了者

(四名)

(ABC順)

西村清保 (富山) 杉村 飛車太郎 (群馬)
沼邊 武 (東京) 小川 正次 (大阪)

大正十一年三月第二回修了者

(五名)

(ABC順)

府川 辰造 (神奈川) 鹽川 駿一 (長野)
沼邊 武 (東京) 武田 幸太郎 (岡山)

大正十二年三月第三回修了者

(五名)

(ABC順)

阿部 勇 (山形) 青木元次郎 (滋賀)
蘆澤輝男 (岡山)

武田 豊穰 (廣島) 田代己代次 (東京)

大正十三年三月第四回修了者

(四名)

(ABC順)

三芳美之藏 (富山) 和田福三郎 (栃木)

渡邊一義 (香川) 安村隆興 (東京)

大正十四年三月第五回修了者

(三名)

(ABC順)

黒澤 徳明 (茨城) 大塚 正眞 (福岡)

吉田 輝 (大阪)

速成科修了者 馬來語部

ヒンドスタニー語部

大正十一年三月第一回修了者

(一名)

大正十二年三月第二回修了者

(三名)

(ABC順)

大西英一 (兵庫) 尾崎貫一郎 (埼玉)

宰務正一郎 (東京)

朝鮮語學科

大正三年三月第一回修了生

(五人)

(成績順)

副島壽人 (長崎) 鬼塚隆藏 (東京)

小瀬村龜三 (神奈川)

高瀬由己 (大分) 山本元次郎 (千葉)

大正十一年三月第二回修了者

(二名)

(ABC順)

平井良雄 (香川) 中村又一 (佐賀)

大正十二年三月第三回修了者

(一名)

横江清兵衛 (滋賀)

明治四十年三月速成科修了生

明治三十九年三月設置同四十年三月廢止
修業年限一ヶ年授業
時數一週二十二時間

露語學科

(十九人)

(いろは順)

渡邊源四郎 (石川) 根岸伊七 (群馬)
程田藤吉 (東京) 奥山光茂 (鹿兒島)
戸川末三 (東京) 押見寅之助 (山口)
竹室卯造 (兵庫) 山口甲子男 (静岡)
宗文江 (東京) 保田宗治郎 (神奈川)

福井敬藏 (東京) 皆川大郎 (山口)
高範中 (清國) 三浦安兵衛 (愛知)
厚美清太郎 (徳島) 鹽田彌惣八 (滋賀)
秋草愛一 (群馬) 茂木徳音 (長野)
湯淺誠作 (群馬)

清語學科

(二十九人)

(いろは順)

若本正木 (長野) 辰川 實 (愛媛)
林善一 (東京) 竹中信以 (東京)
西山章二 (福島) 塚原守重 (山梨)
細川久 (岩手) 長竹元吉 (千葉)
土井芳輔 (山口) 中村春之助 (神奈川)
川谷宮太郎 (高知) 中村惠延 (埼玉)
立花慶應 (福岡) 矢野繁之丞 (岩手)
高山好 (新潟) 松岡龍吉 (岐阜)

松田智禮 (愛媛) 岸田國太郎 (京都)
松浦捨吉 (和歌山) 澁谷兵八 (岐阜)
藤岡藤市 (徳島) 清水清次 (山形)
舟津勝三 (東京) 鈴木一頁 (東京)
江口是三郎 (佐賀) 鈴木榮之丞 (長野)
新井慶太郎 (埼玉)
秋元雄治 (群馬)
酒井恒記 (愛媛)

韓語學科

(十四人)

(いろは順)

池田 傳次 (秋田)	野澤 寛一 (新潟)	松岡 末廣 (愛媛)	島谷 直方 (富山)
石川 竹三郎 (埼玉)	興津 健夫 (東京)	足助 嘉一郎 (長野)	墨 豪 兒 (愛知)
田中 徳太郎 (青森)	黒羽 資明 (茨城)	北山 清 (茨城)	
中澤 鐵太郎 (東京)	山中 忠太 (三重)	宮崎 侃 (東京)	

東洋語速成科修業生
明治四十一年四月設置同四十四年三月廢止
 修業年限一ケ年
 授業時數一週二十二時間

馬來語學科

明治四十三年三月第一回修業生 (十六人) (いろは順)

飯塚 重一 (埼玉)	加藤 治躬 (静岡)	中島 懋一 (東京)	松井 秀三 (鳥取)
林 虎太 (香川)	笠村 思敬 (栃木)	宇野 耕雲 (東京)	松信 春之助 (茨城)
小野 良吉 (大分)	田中 與平多 (長野)	野口 郁彦 (北海道)	近藤 正二 (東京)
萩島 良三 (埼玉)	中村 庄太郎 (福井)	久保田 善一郎 (茨城)	寺尾 熊次 (北海道)

明治四十三年三月第二回修業生 (二人) (いろは順)

×岩室 哲次郎 (廣島) 秋保 俊治 (宮城)

明治四十四年三月第三回修業生 (四人) (成績順)

森田 三郎 (東京) 板垣 龍三 (山形) 木全省 吾 (愛知) 山道儀 三郎 (群馬)

ヒンドスタニー語學科

明治四十二年三月第一回修業生 (十二人) (いろは順)

稻見 憲吉 (栃木) 小栗 明 (岐阜) 金村 貞太郎 (東京) 鷹屋 祐攝 (富山)

武關久壽 (栃木) 上田孝三 (三重)

大澤友吉 (千葉) 赤羽宇重 (長野)

土屋政次郎 (岡山) 鶴飼仙之助 (岐阜)

山室廉吉 (宮崎) 阿滿得壽 (京都)

石山善壽 (栃木) 野口一三郎 (新潟)

(三人) (いろは順)

明治四十四年三月第三回修業生

(五人) (成績順)

豊田忠太郎 (石川) 神崎友吉 (栃木)

横山金三郎 (滋賀)

渥味 益 (静岡) 江尻正一 (茨城)

(四人) (いろは順)

田中俊三 (和歌山) 柳田光之助 (東京)

秋元善藏 (青森) 三宅 正 (愛媛)

和田逸三 (兵庫) 渥味 益 (静岡)

(二人) (いろは順)

蒙古語學科

明治四十二年三月第一回修業生

(六人) (いろは順)

石山福治 (新潟) 西田與左衛門 (東京)

吉田順三 (東京) 中島友次郎 (群馬)

藤森 勇 (長野) 三俣二郎 (群馬)

明治四十三年三月第二回修業生

(三人) (いろは順)

高橋安親 (新潟) 高田治作 (北海道)

猪狩重光 (北海道)

明治四十四年三月第三回修業生

(七人) (成績順)

神谷 衡平 (東京) 宮島鹿雄 (佐賀)

浅野 睦 (東京) 片野孝三 (福島)

笠井清三郎 (三重) 大地亮平 (千葉)

脇川文近 (長崎)

東京音樂學校委託伊語特別科修了生

修業年限二ヶ年
授業時間一週六時間

大正三年三月修業生

松島 彝 (東京)

東京府委託支那語特別科修業生

修業年限二ヶ年
授業時數一週六時間

大正七年七月修業生

天野源一 (静岡)
矢野重弘 (北海道)
榊 祥次 (熊本)
日下大郎 (東京)
原西季雄 (東京)

松本篤太郎 (東京)
安藤義照 (東京)
漆畑五郎 (静岡)
中山 武 (廣島)
杉浦 鈺一 (愛知)

原 義一頁 (東京)
増田達雄 (滋賀)
神保文一 (東京)
萩谷 直 (茨城)
堀井芳三郎 (京都)

(十八人)

(成績順)

宮城富期 (東京)
松平 勇 (愛知)
藤野周太郎 (大阪)

第五臨時教員養成所卒業生

明治三十五年四月設置同三十九年三月廢止
英語科、修業年限二ヶ年

明治三十七年三月第一回卒業生

(二十六人)

(いろは順)

泉本覺一郎 (奈良)
×池田朝長 (東京)
×芳賀重治郎 (宮城)
橋村惠五郎 (高知)
二瓶兵二 (福島)
越智國一 (愛媛)
小川政之助 (香川)

岡村邦雄 (三重)
小野 蘆 (青森)
川 淑兼治 (山形)
金井半三郎 (群馬)
高橋 良一 (岩手)
並河 良孝 (島根)
向高 良夫 (宮崎)

梅谷 興一 (埼玉)
國 枝 昇 (熊本)
×八十與一 (兵庫)
山田孝太郎 (茨城)
山本市太郎 (島根)
小林 秀光 (東京)
江副 秀喜 (熊本)

坂部和三郎 (愛知)
木下芳雄 (東京)
森 麗 (大分)
關 怡 (鹿兒島)
×鈴木 康 (栃木)

明治三十九年三月第二回卒業生

(二十五人)

(いろは順)

傍士 瀧治 (高知)
四 村 昂三 (島根)
×堀尾柳市 (島根)
本郷 喜治 (宮城)
富永 置三 (東京)
小田 四郎 (宮崎)
加藤 治躬 (静岡)

田子 富彦 (鳥取)
瀧崎 保 (長野)
名原 廣三郎 (島根)
仲本 吉一郎 (沖繩)
夏原 由三郎 (滋賀)
大下 盛 (香川)
山本 甚輔 (山口)

眞方 友二 (宮崎)
福元 一二 (鹿兒島)
×五島 退藏 (徳島)
今元 鶴 (青森)
赤井 知洗 (奈良)
佐藤 國彦 (福島)
宮田 峰一 (廣島)

清水 勇 (愛媛)
平岩 元吉 (愛知)
須藤 登治 (岩手)
鈴木 龜壽 (東京)

英語部

(大正八年マテハ英語學科ト稱ス以上之ニ準ズ
本科各語部入學志願者中第二及第三志望者ノ數ハ大正十三年ヨリ掲ケタリ)

本科		專科		修科		年 度
入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	修了者	修了者	
二八	二八	七四	二四	二四	二四	明治三十年
九一	二七	一九六	四四	四二	四二	同三十一年
一一二	二八	七四	二九	二九	二九	同三十二年
一一〇	三六	一九七	五五	五五	五五	同三十三年
一四四	二八	一八〇	六二	六二	六二	同三十四年
一八九	三〇	一八九	六四	六四	六四	同三十五年
一一五	三〇	一八六	六二	六二	六二	同三十六年
一一一	三〇	一九七	七〇	七〇	七〇	同三十七年
二二四	二七	一八五	六九	六九	六九	同三十八年
二四〇	三〇	二八〇	七二	七二	七二	同三十九年
一九〇	三〇	二八〇	七二	七二	七二	同四十年
二四〇	二六	二八〇	七二	七二	七二	同四十一年
一九〇	二六	二八〇	七二	七二	七二	同四十二年
一八七	三〇	二八〇	七二	七二	七二	同四十三年
一一三	三〇	二八〇	七二	七二	七二	同四十四年
二二二	三〇	二八〇	七二	七二	七二	同四十五年
二四一	二八	二八〇	七二	七二	七二	大正二年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同三年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同四年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同五年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同六年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同七年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同八年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同九年
二二二	二八	二八〇	七二	七二	七二	同十年

本科		專科		修科		年 度
入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	修了者	修了者	
一八四	一五	三一五	一〇二	一〇二	一〇二	明治三十年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十一年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十二年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十三年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十四年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十五年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十六年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十七年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十八年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三十九年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同四十年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同四十一年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同四十二年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同四十三年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同四十四年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同四十五年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	大正二年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同三年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同四年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同五年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同六年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同七年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同八年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同九年
三五二	二一	三六一	五九	五九	五九	同十年

佛語部

本科		專科		修科		年 度
入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	修了者	修了者	
一五	一五	六一	三五	三五	三五	明治三十年
四八	二一	六二	五九	五九	五九	同三十一年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十二年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十三年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十四年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十五年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十六年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十七年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十八年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三十九年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同四十年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同四十一年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同四十二年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同四十三年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同四十四年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同四十五年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	大正二年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同三年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同四年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同五年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同六年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同七年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同八年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同九年
四三	二一	六二	五九	五九	五九	同十年

獨語部

本	科	入學志願者	入學者	卒業者	入學志願者	入學者	修了者	年	度
內第五志	文	九九	二五	一四	五五	五三	一〇	大正	四年
內第七志	文	三二	二五	一三	五〇	四四	一一	同	五年
內第二志	文	九六	二八	二〇	五一	四七	一三	同	六年
內第四志	文	二四〇	三一	一七	四七	四七	一〇	同	七年
外第一志	文	一五三	三一	二四	八七	五五	一五	同	八年
外第二志	文	一七五	三	二五	七五	四五	一〇	同	九年
外第三志	文	一八九	九〇	六二	六八	九六	一八	同	十年
外第四志	文	一〇〇	六四	八九	一三	六七	一八	同	十一年
外第五志	文	一九七	九〇	六二	一八	九六	一八	同	十二年
外第六志	文	一九五	六四	八九	一八	九六	一八	同	十三年
外第七志	文	一九五	六四	八九	一八	九六	一八	同	十四年
外第八志	文	一九五	六四	八九	一八	九六	一八	同	十五年

獨語部

本	科	入學志願者	入學者	卒業者	入學志願者	入學者	修了者	年	度
內第二志	文	二八	二八	二六	五五	三〇	九	明治	三十年
內第七志	文	六三	一六	一七	六九	六二	六	同	三十一年
內第五志	文	七二	二四	一五	七〇	六二	九	同	三十二年
內第三志	文	四二	二九	一四	六九	三九	八	同	三十三年
內第一志	文	四三	三〇	一五	七〇	四〇	九	同	三十四年
外第一志	文	六一	三一	一五	八一	六八	五	同	三十五年
外第二志	文	五三	三一	一五	八四	六八	三	同	三十六年
外第三志	文	六一	三一	一五	八一	六八	五	同	三十七年
外第四志	文	四三	三一	一五	八一	六八	五	同	三十八年
外第五志	文	五三	三一	一五	八一	六八	五	同	三十九年
外第六志	文	六一	三一	一五	八一	六八	五	同	四十年

露語部

本	科	入學志願者	入學者	卒業者	入學志願者	入學者	修了者	年	度
內第一志	文	四五	三〇	一八	四四	七一	一三	同	四十一年
內第二志	文	三八	二四	一五	六九	六九	一〇	同	四十二年
內第七志	文	五五	三三	二六	七五	六七	一二	同	四十三年
內第五志	文	五五	三三	二六	七五	六七	一二	同	四十四年
內第三志	文	九五	二八	一七	八一	六六	一四	同	四十五年
內第一志	文	一二五	二七	一七	八四	五〇	一八	大正	二年
外第一志	文	一七〇	二八	一七	八一	五〇	一八	同	三年
外第二志	文	二〇〇	二七	一七	八一	五〇	一八	同	四年
外第三志	文	二二五	二七	一七	八一	五〇	一八	同	五年
外第四志	文	二四〇	二八	一七	八一	五〇	一八	同	六年
外第五志	文	二五〇	二八	一七	八一	五〇	一八	同	七年
外第六志	文	二七〇	二九	一八	八四	五〇	一八	同	八年
外第七志	文	二九〇	二九	一八	八四	五〇	一八	同	九年
外第八志	文	三一〇	三〇	一九	九〇	五五	二〇	同	十年
外第九志	文	三三〇	三〇	一九	九〇	五五	二〇	同	十一年
外第十志	文	三五〇	三〇	一九	九〇	五五	二〇	同	十二年
外第十一志	文	三七一	三一	二〇	九六	六一	二一	同	十三年
外第十二志	文	三九〇	三一	二〇	九六	六一	二一	同	十四年
外第十三志	文	四一〇	三一	二〇	九六	六一	二一	同	十五年

露語部

葡語部

三一五

葡語部

入學志願者	本	入學者	科	卒業者	入學志願者	專修科及速成科	入學者	速成科	修了者	年	度
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	四	同	大正十五年
二四	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	六	同	大正十四年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	一五	同	大正十三年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	四	同	大正十二年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正十一年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正十年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正九年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正八年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正七年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正六年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正五年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正四年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正三年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正二年
二五	三三	三三	三三	三三	二八	二二	二二	二二	九	同	大正十五年

西語部

三一四

西語部

入學志願者	本	入學者	科	卒業者	入學志願者	專修科及速成科	入學者	速成科	修了者	年	度
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治三十年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十九年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十八年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十七年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十六年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十五年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十四年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十三年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十二年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十一年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治二十年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治十九年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治十八年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治十七年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治十六年
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二	同	明治十五年

蒙古語部

本 科	入學志願者 <small>(內第二志) 七</small>	入學者 七	卒業者	入學志願者 <small>(內第二志) 三</small>	入學及速成科者 二	修了者	年 度
	入學志願者 <small>(內第一志) 七</small>	入學者 七	卒業者	入學志願者 <small>(內第一志) 三</small>	入學及速成科者 二	修了者	年 度

(內第二志)	二四	二七	二三	三五	二八	一〇	同 四十四年
(內第一志)	五〇	二一	一一	二六	二一	六	同 四十五年
(內第二志)	六六	二二	一三	三七	二二	二	同 大正二年
(內第一志)	八三	二一	一三	一九	一五	八	同 三年
(內第二志)	一〇七	二六	一〇	三九	二三	八	同 四年
(內第一志)	一四五	二二	一一	三五	二九	一三	同 五年
(內第二志)	一五〇	二七	一一	三八	二六	一四	同 六年
(內第一志)	一六三	二三	一八	三一	二七	九	同 七年
文種科	一五四	二〇	一〇	三五	三〇	六	同 八年
文種科	一六〇	二一	一一	三二	二九	七	同 九年
文種科	一八一	二二	一二	三三	二七	六	同 十年
文種科	一六四	二三	一三	三二	二七	七	同 十一年
文種科	一八〇	二四	一四	三一	二九	九	同 十二年
文種科	二〇六	二五	一五	三〇	三一	一〇	同 十三年
文種科	二〇六	二六	一六	二九	二七	一〇	同 十四年
文種科	二〇六	二七	一七	二八	二九	六	同 十五年
文種科	二〇六	二八	一八	二七	二九	六	同 十五年

支那語部

支那語部

本 科	入學志願者 一三	入學者 一三	卒業者	入學志願者 二四	入學及速成科者 一八	修了者	年 度
	入學志願者 <small>(內第二志) 一三</small>	入學者 一三	卒業者	入學志願者 <small>(內第二志) 二四</small>	入學及速成科者 一八	修了者	年 度

(內第二志)	一三	二四	一三	二四	一八	一〇	同 明治三十年
(內第一志)	三七	二二	一九	二二	二〇	二	同 三十二年
(內第二志)	三三	一九	一六	一九	二〇	二	同 三十三年
(內第一志)	三五	二〇	一七	二〇	一九	二	同 三十四年
(內第二志)	六二	二二	一九	二二	二〇	二	同 三十五年
(內第一志)	六一	二二	一八	二一	二〇	二	同 三十六年
(內第二志)	〇七	二三	一七	二二	二〇	二	同 三十七年
(內第一志)	二〇	二二	一七	二一	一九	二	同 三十八年
(內第二志)	二二	二二	一七	二二	一九	二	同 三十九年
(內第一志)	二二	二二	一七	二二	一九	二	同 四十年
(內第二志)	二二	二二	一七	二二	一九	二	同 四十一年
(內第一志)	二二	二二	一七	二二	一九	二	同 四十二年
(內第二志)	二二	二二	一七	二二	一九	二	同 四十三年

朝鮮語部

年 度	本 科		專 修 科		年 度
	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	
同 三十五年	七	六	三	二	同 十五年
同 三十四年	一一	八			同 十四年
同 三十三年	一四	六			同 十三年
同 三十二年	四九	一一			同 十二年
同 三十一年	一六	一七			同 十一年
同 三十年	二八	六八			同 十年
同 二十九年	一〇八	一四七			同 九年
同 二十八年	一六	一七			同 八年
同 二十七年	二二	二二			同 七年
同 二十六年	二八	三六			同 六年
同 二十五年	六	六			同 五年
同 二十四年	二二	一六			同 四年
同 二十三年	二二	一六			同 三年
同 二十二年	二二	一六			同 二年
同 二十一年	二二	一六			同 一年
同 二十年	二二	一六			同 零年
同 十九年	二二	一六			同 明治三十年
同 十八年	二二	一六			同 明治二十九年
同 十七年	二二	一六			同 明治二十八年
同 十六年	二二	一六			同 明治二十七年
同 十五年	二二	一六			同 明治二十六年
同 十四年	二二	一六			同 明治二十五年
同 十三年	二二	一六			同 明治二十四年
同 十二年	二二	一六			同 明治二十三年
同 十一年	二二	一六			同 明治二十二年
同 十年	二二	一六			同 明治二十一年
同 九年	二二	一六			同 明治二十年
同 八年	二二	一六			同 明治十九年
同 七年	二二	一六			同 明治十八年
同 六年	二二	一六			同 明治十七年
同 五年	二二	一六			同 明治十六年
同 四年	二二	一六			同 明治十五年
同 三年	二二	一六			同 明治十四年
同 二年	二二	一六			同 明治十三年
同 一年	二二	一六			同 明治十二年
同 零年	二二	一六			同 明治十一年
同 明治三十年	二二	一六			同 明治十年
同 明治二十九年	二二	一六			同 明治九年
同 明治二十八年	二二	一六			同 明治八年
同 明治二十七年	二二	一六			同 明治七年
同 明治二十六年	二二	一六			同 明治六年
同 明治二十五年	二二	一六			同 明治五年
同 明治二十四年	二二	一六			同 明治四年
同 明治二十三年	二二	一六			同 明治三年
同 明治二十二年	二二	一六			同 明治二年
同 明治二十一年	二二	一六			同 明治一年
同 明治二十年	二二	一六			同 明治零年

朝鮮語部

年 度	本 科		專 修 科		年 度
	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	
同 三十五年	七	六	三	二	同 十五年
同 三十四年	一一	八			同 十四年
同 三十三年	一四	六			同 十三年
同 三十二年	四九	一一			同 十二年
同 三十一年	一六	一七			同 十一年
同 三十年	二八	六八			同 十年
同 二十九年	一〇八	一四七			同 九年
同 二十八年	一六	一七			同 八年
同 二十七年	二二	二二			同 七年
同 二十六年	二八	三六			同 六年
同 二十五年	六	六			同 五年
同 二十四年	二二	一六			同 四年
同 二十三年	二二	一六			同 三年
同 二十二年	二二	一六			同 二年
同 二十一年	二二	一六			同 一年
同 二十年	二二	一六			同 零年
同 十九年	二二	一六			同 明治三十年
同 十八年	二二	一六			同 明治二十九年
同 十七年	二二	一六			同 明治二十八年
同 十六年	二二	一六			同 明治二十七年
同 十五年	二二	一六			同 明治二十六年
同 十四年	二二	一六			同 明治二十五年
同 十三年	二二	一六			同 明治二十四年
同 十二年	二二	一六			同 明治二十三年
同 十一年	二二	一六			同 明治二十二年
同 十年	二二	一六			同 明治二十一年
同 九年	二二	一六			同 明治二十年
同 八年	二二	一六			同 明治十九年
同 七年	二二	一六			同 明治十八年
同 六年	二二	一六			同 明治十七年
同 五年	二二	一六			同 明治十六年
同 四年	二二	一六			同 明治十五年
同 三年	二二	一六			同 明治十四年
同 二年	二二	一六			同 明治十三年
同 一年	二二	一六			同 明治十二年
同 零年	二二	一六			同 明治十一年
同 明治三十年	二二	一六			同 明治十年
同 明治二十九年	二二	一六			同 明治九年
同 明治二十八年	二二	一六			同 明治八年
同 明治二十七年	二二	一六			同 明治七年
同 明治二十六年	二二	一六			同 明治六年
同 明治二十五年	二二	一六			同 明治五年
同 明治二十四年	二二	一六			同 明治四年
同 明治二十三年	二二	一六			同 明治三年
同 明治二十二年	二二	一六			同 明治二年
同 明治二十一年	二二	一六			同 明治一年
同 明治二十年	二二	一六			同 明治零年

大正十五年概況

一、教 官

大正十五年概況

三二一

三二〇

專修科	速成科	合計
四九七〇		五四八二二七
三三五		五九四一九六
四二六四		〇三三三九六
二九三		四一六三三
	二	二五三八二
八三三		九八二八
	七	八二八三
一六三		八五七六
	四	七六四
	一〇	一三三四
		八二二
四三	三	一一一八

一 東京外國語學校校友會規則

第一章 名稱及目的

第一條 本會ハ東京外國語學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ會員ノ交誼ヲ厚フシ心身ヲ鍊鍛シ且校風ヲ振作スルヲ以テ目的トス

第二章 會員

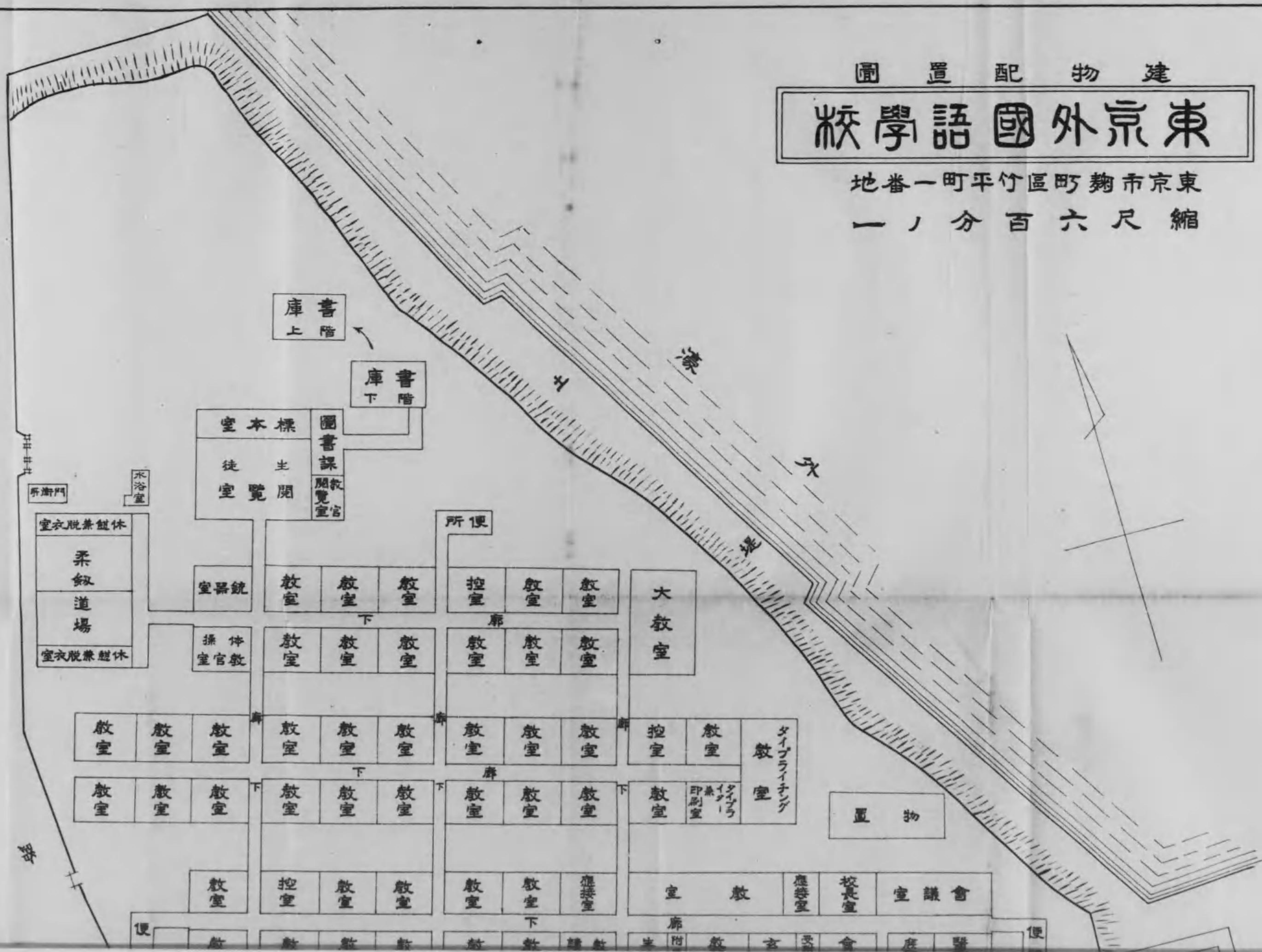
第三條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

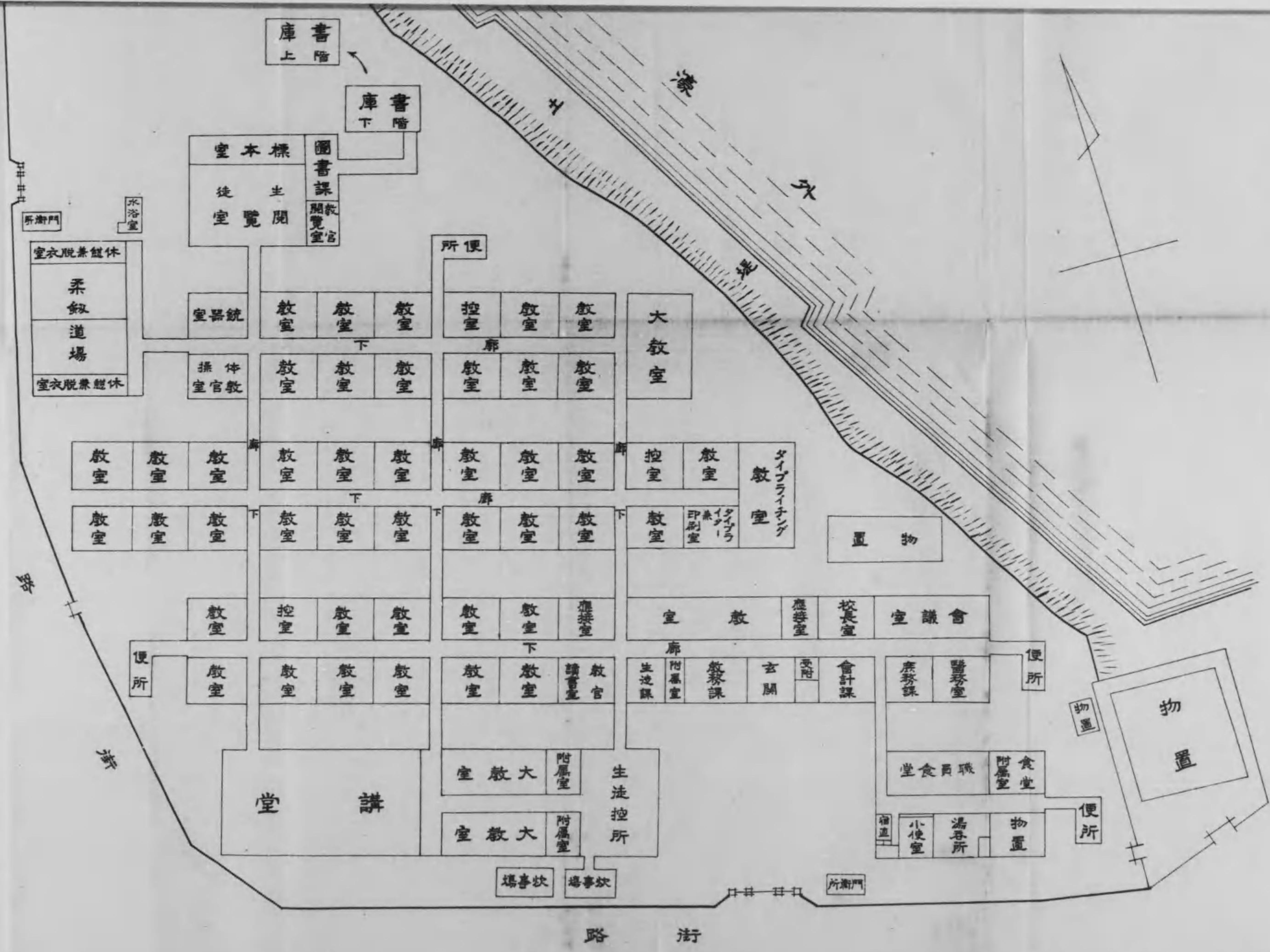


建 物 配 置 圖

東 京 外 國 語 學 校

東 京 市 麹 町 區 竹 平 一 番 地
縮 尺 六 百 分 一





東京外國語學校校友會日誌學寮

東京外國語學校校友會日誌學寮

小室
...

一、正會員

一、特別會員

一、贊助會員

一、名譽會員

第四條 本校本科生及ヒ選科生及本校内臨時教員養成所生徒ハ正會員タルヘキモノトス

第五條 本校職員ヲ特別會員トス

第六條 本校卒業者及本校内臨時教員養成所卒業者ヲ贊助會員トス

第七條 本校ニ縁故アリ本會ノ目的ヲ賛成スル者ヲ會長ノ推薦ニヨリテ名譽會員トス

第三章 部 門

第八條 本會ニ左ノ六部ヲ置ク

第一部 武術部

第二部 陸上運動部

第三部 水上運動部

第四部 文藝部

第五部 辯論部

第六部 語學大會

東京外國語學校校友會規則

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

但必要ノ場合ハ臨時委員ヲ置ク事ヲ得

會長	一名	副會長	一名
部長	六名	評議員	十五名以內
幹事	三十六名 <small>內譯、第一部四名、第二部四名、第三部九名、第四部六名、第五部五名、第六部八名</small>	委員	各級一名
主計	一名	錄事	一名

第十條 會長ハ東京外國語學校長之ニ當ル

第十一條 會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス

第十二條 副會長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第十三條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ル

第十四條 部長ハ委員會ニ於テ特別會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ囑託ス

第十五條 部長ハ各部ノ事務ヲ掌理ス

第十六條 評議員ハ特別會員及贊助會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第十七條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ本會ノ重要ナル事項ヲ審議ス

第十八條 幹事ハ委員會ニ於テ正會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ任命ス

第十九條 幹事ハ部長ヲ輔ケテ各部ノ事務ヲ處理ス

第二十條 委員ハ各級ヨリ一名ヲ互選シ本會一切ノ事項ヲ評決ス

第二十一條 主計ハ本校ノ會計課員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會一切ノ出納ヲ掌ル

第二十二條 錄事ハ本校事務員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會ノ記録ヲ掌ル

第二十三條 本會役員ノ任期ハ滿一ケ年トス

但毎年四月ヲ以テ任期ノ始トス

第二十四條 各役員會ハ役員ノ半數以上ノ出席者アルニアラサレハ成立セサルモノトス

第五章 役員會

第二十五條 役員會ヲ分チテ評議員會、部長會、幹事會及委員會トス

第二十六條 各役員會ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 會計

第二十七條 本會々計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第二十八條 次年度ノ豫算ハ毎年二月各部幹事之ヲ編成シ部長會ノ査定ヲ經テ委員會ノ議ニ附シ會長ノ認可ヲ經テ決定ス

第二十九條 正會員ハ入會金貳圓及會費年額金拾圓ヲ納ムヘシ

但入會金ハ入學ノ際ニ之ヲ納メ内金壹圓ヲ基本金トス會費ハ三回ニ分チ第一學期金五圓第二學期金參圓第三學期金貳圓ヲ授業料ト同時ニ納ムヘシ

第三十條 特別會員ハ毎月俸給月額百五十分ノ一(外國人ハ二百分ノ一)ヲ寄附ス

第三十一條 名譽會員及贊助會員ハ會費ヲ納ムル事ヲ要セス

第三十二條 本會ノ決算ハ六月末日迄ニ委員會ニ報告シ其承認ヲ受クヘシ

第七章 基本金

第三十三條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランガ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

第三十四條 本會基本金ハ特定收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十五條 基本金ハ之ヲ通常經費ニ流用スルヲ得ス

但利子ハ當分ノ内基本金ニ繰入ル、モノトス

第三十六條 有志者ヨリノ寄附ハ會長ノ承認ヲ經テ受納シ之ヲ基本金中ニ繰入ル

第八章 東京外國語學校購買組合

第三十七條 本會ニ東京外國語學校購買組合ヲ附設ス

第三十八條 東京外國語學校購買組合ノ規約ハ別ニ之ヲ定ム

第九章 規則改正

第三十九條 本會規則ハ委員會ノ決議ニヨリ會長ノ認可ヲ經テ改正スル事ヲ得

(附則) 本規則ハ大正七年九月十一日ヨリ全部施行ス

(大正十三年三月大正十五年四月改正)

二 東京外國語學校同窓會規則

名稱

第一條 本會ハ東京外國語學校同窓會ト稱ス

目的

第二條 本會ハ堅實ナル學風ノ樹立ト同窓ト親睦ヲ厚フスルヲ以テ目的トス

會員

第三條 本會々員ハ分チテ正會員名譽會員ノ二種トス

第四條 東京外國語學校本科出身者ハ入會ノ手續ニ依ラスシテ正會員タルモノトス

但其他ノ出身者及嘗テ本校ニ在學セシモノハ希望ニヨリ正會員タルコトヲ得

第五條 東京外國語學校在職ノ教職員及關係者ヲ名譽會員トス

役員

第六條 本會ニ幹事及委員ヲ置ク

第七條 委員ハ總會ニ於テ各語學科毎ニ五名以内ヲ選出ス

第八條 幹事ハ十二名トシ委員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

第九條 幹事委員ノ任期ハ各二ケ年トス

第十條 幹事ハ會務一切ヲ處理ス

第十一條 委員ハ幹事ヲ補佐シ會務ニ當ル

會計

第十二條 正會員ハ毎年會費トシテ金壹圓ヲ納付スルモノトス

但シ一時金拾五圓也ヲ納付シタル者ハ爾後ノ會費ヲ要セス

第十三條 資金ハ本會直接ノ業務ニ要スルモノ、外一切支出スルコトヲ得ス

第十四條 資金支出殘額ハ年々決算ノ上基本金ニ編入ス

第十五條 會計年度ハ毎年九月一日ヨリ翌年八月末日迄トス

第十六條 本會々計報告ハ總會ニ於テ之レヲ行フ

第十七條 本會ノ基礎ヲ確實ナラシムル爲メ基本金制度ヲ設ク

第十八條 基本金ハ銀行ニ預入レ幹事之レヲ保管ス

會合

第十九條 本會總會ハ毎年十月之レヲ開ク

但役員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第二十條 幹事ハ毎月一回會合シテ事務ヲ處理ス

第二十一條 委員ハ隔月一回會合シテ會務ヲ議決ス

但必要ニ應シ臨時之ヲ開クコトヲ得

會務

第二十二條 本會ハ會報及會員名簿ヲ毎年一回會員ニ配布ス

第二十三條 本會々員ニシテ異動シタルトキハ直チニ本部宛ニテ通知スル義務アルモノトス

規則變更

第二十四條 本會々則ノ變更ハ總會ノ際出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

支 部

第二十五條 各地ニ支部ヲ置ク

但支部規則ハ各地ニテ本則ニ準シ適宜之レヲ定ム

附 則

第二十六條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ隨時諸種ノ機關ヲ設クルコトヲ得

附 記

本會事務所ハ東京外國語學校内ニ置ク

基本金制度

- 一、本會規則第十七條ニ依リ基本金制度ヲ設ク
 - 二、基本金ハ本會々員及其ノ他有志者ヨリ募集ス
 - 三、基本金ノ寄附ハ一口金五圓也トス
- 但一人二口以上申込ムコトヲ得

四、基本金ノ寄附ハ一時拂込ミトス

但二ヶ年四回ニ分チ拂込ムモ妨ケ無シ

第十二臨時教員養成所一覽

大正十五年度

第十二臨時教員養成所一覽

大正十五年度

目次

第一 沿革.....一

第二 學年曆.....一

第三 關係法令.....一

 一 臨時養成所官制.....一

 二 臨時教員養成所規程(抄).....二

 三 臨時教員養成所管理者職務規程.....四

 四 臨時教員養成所名稱及學科.....四

第四 學則.....七

第五 職員.....一九

第六 生徒.....二一

 一 生徒氏名.....二一

 二 入學志願者及入學者數.....二二

第一 沿革

大正十五年四月一日 文部省告示第二百二號ヲ以テ東京外國語學校内ニ設置セラレ英語科ヲ置ク官制ニ依リ東京外國語學校長管理者トナル

第二 學年曆

東京外國語學校學年曆ニ同シ

第三 關係法令

一 臨時教員養成所官制

- 第一條 臨時教員養成所ハ師範學校、中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
- 第二條 臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定スル帝國大學及直轄諸學校内ニ之ヲ置ク
- 第三條 臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長及直轄諸學校長ヲシテ之ヲ管理セシム
- 第四條 臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク
- 教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル
- 書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ囑託シ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得
- 第五條 臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之ヲ定ム

第一 沿革

第二 學年曆

第三 關係法令

附則

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 臨時教員養成所規程(抄)

- 第一條 臨時教員養成所ニハ國語漢文科、英語科、數學科、博物科、物理化學科、家事裁縫科、體操家事科、理科家事科、歴史地理科、理科、音樂科、體操科ノ一學科若クハ數學科ヲ置ク
- 第二條 前條各學科ノ修業年限ハ二年乃至三年トス
- 第三條 國語漢文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、言語學、歴史、地理、英語(隨意科目)體操トス
- 第四條 英語科ノ學科目ハ修身、教育、英語、國語及漢文、言語學、體操トス
- 第五條 數學科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、簿記、英語、體操トス
- 第六條 博物科ノ學科目ハ修身、教育、動物、植物、生理及衛生、礦物及地質、英語、體操トス
- 第七條 物理化學科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、數學、圖畫及手工、英語、體操トス
- 第七條ノ二 家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、家事、裁縫、國語、應用理科手藝、圖畫、體操トス
- 第七條ノ三 體操家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、理科、國語、音樂トス
- 第七條ノ四 理科家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、數學、體操、英語(隨意科目)トス
- 第七條ノ五 歴史地理科ノ學科目ハ修身、教育、歴史、地理、法制及經濟、英語、體操トス
- 第七條ノ六 理科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、動物、植物、生理及衛生、礦物及地質、體操、英語(隨意科目)トス

語(隨意科目)トス

第七條ノ七 音樂科ノ學科目ハ修身、教育、唱歌、器學(オルガン又ハピアノ)國語、音樂通論、和聲論、音樂史、英語(隨意科目)トス

第七條ノ八 體操科ノ學科目ハ修身、教育、體操、柔道又ハ劍道、生理及衛生、英語(隨意科目)トス

第八條 各學年ノ修業年限及學科目ノ每週教授時數ハ管理者之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學科目ヲ加除スルコトヲ得

第十條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ハ分テ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

休業日ニ關スル規定ハ管理者之ヲ定ムヘシ

第十一條 入學試験ハ男子ニ在リテハ中學校卒業、女子ニ在リテハ修業年限四個年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フ但シ中學校高等女學校及師範學校ノ卒業者ニ限り時宜ニ因リ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十一條ノ二 管理者ニ於テ特別ノ必要アリト認メタルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當分ノ内家事裁縫科ニ限り其ノ生徒ノ一部ノ教育ヲ教員無試験檢定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立又ハ私立ノ學校ニ委託スルコトヲ得

前項委託ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ管理者之ヲ定ムヘシ

第十二條 各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ管理者ノ見込ニ因リ某學科目ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十三條 管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ管理者ハ前項ノ卒業生ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條 管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及性行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十五條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得但シ己ムヲ得サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス

第十六條 管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十七條 臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徵收セス

第十八條 臨時教員養成所ニ於テハ入學試験料ヲ徵收スルコトヲ得

第十九條 特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

三 臨時教員養成所管理者職務規程

臨時教員養成所管理者職務ハ當該直轄學校長ノ職務規程ヲ準用ス

四 臨時教員養成所名稱及學科

名 稱	學 科	告 示 摘 要
第一臨時教員養成所 (東京高等師範學校内)	國語漢文科 英語文理科 數學地理科 歷史地理科 博體理科	大正十一年四月文部省告示 第三百四十四號ヲ以テ設置告示 第二百六十四號ヲ以テ追加
第二臨時教員養成所 (廣島高等師範學校内)	英語理科 物理化學科 博物學科 國語漢文科 歷史地理科 數學地理科	同上
第三臨時教員養成所 (奈良女子高等師範學校内)	數學理科 理學科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號 ヲ以テ設置
第四臨時教員養成所 (東京音樂學校内)	音樂科	同上
第五臨時教員養成所 (大阪外國語學校内)	英語科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號 ヲ以テ設置
第六臨時教員養成所 (東京女子高等師範學校内)	家事裁縫科 體操家事科 理科漢文科 國語漢文科	明治三十九年四月文部省告示第八十三號ヲ 以テ設置四十二年告示第四十號、大正七年 告示第二十八號十年告示第四百二十二號十一 年告示第三百四十五號ヲ以テ改正
第七臨時教員養成所 (京都帝國大學内)	國語漢文科	大正十二年文部省告示第二百六十三號ヲ以 テ設置
第八臨時教員養成所 (九州帝國大學内)	數學理科 物理化學科	同上

第三 關係法令

第九臨時教員養成所 (東北帝國大學內)	數學科 物理化學科	同上
第十臨時教員養成所 (第四高等學校內)	物理化學科	同上
第十一臨時教員養成所 (濱松高等工業學校內)	數學科 物理化學科	同上
第十二臨時教員養成所 (東京外國語學校內)	英語科	大正十五年四月文部省告示第二百二號ヲ以テ設置
第十三臨時教員養成所 (第五高等學校內)	數學科	同上
第十四臨時教員養成所 (小樽高等商業學校內)	英語科	同上

第十二臨時教員養成所學則

第一章 總則

第一條 本所ニ英語科ヲ置ク

第二條 修業年限ハ三箇年トス

第二章 學科課程

第三條 學科目並ニ每週授業時數左ノ如シ

	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
英語	二二	二二	二〇
佛(又ハ獨)語	二	二	二
國語	二	二	二
言語學	二		
哲學	二	一	三
教育		三	二

體操	一二	一二	一二
計	三二	三二	三二

第三章 學年、學期及休業

第四條 學年、學期及休業ハ東京外國語學校學則第三章ニ據ル

第四章 入學、在學及退學

第五條 生徒ハ左ノ資格ヲ有スル者ニシテ出身學校長ノ薦舉ニ依リ教員タルニ適當ナリト認ムル者ニ就キ試験ノ上入學ヲ許可ス

但第二號中出身學校ヲ有セザル者ハ薦舉ヲ要セス

一 師範學校及中學校ノ卒業者

二 專門學校入學者檢定規程ニ合格シタル者及一般ノ專門學校入學ニ關シ無試験檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者並小學校本科正教員免許狀ヲ有スル者

第六條 入學志願者ハ左ノ書類ニ寫眞(手札形、半身脱帽提出前三箇月以内置身撮影シタルモノヲ臺紙ニ貼付シ裏面ニ氏名ヲ記入スヘシ)ヲ添ヘ指定ノ期日内ニ本所ニ差出スヘシ

一 入學願書(書式第一號)

一 出身學校長ノ薦舉書(書式第二號)

一 學業成績並人物考定書(書式第三號)

一 履歷書(書式第四號)

一 戶籍謄本

一 所屬長官ノ承認書(現ニ官職ニ在ル者又ハ服務年限中ノ者並現ニ在學セル學校卒業後服務義務ヲ生ズル者ニ限り之ヲ要ス)

第七條 入學試験ハ左ノ四科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ

一 英語

一 國語及漢文

一 歷史

一 數學(算術、代數、幾何)

第八條 入學ヲ許可セラルタル者ハ正副保證人ヲ定メ誓書(書式第五號)ヲ差出スヘシ

保證人ハ管理者ニ於テ適當ト認メタル者ニシテ中一人ハ東京市又ハ同市附近ニ在住スル者タルヘシ

第九條 生徒ハ授業料ヲ要セス

第十條 生徒中或數ヲ限リ學資ヲ支給ス

第十一條 生徒ニシテ東京外國語學校學則第四章第二十二條ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

第十二條 已ムヲ得サル事故ニ因リ退學セントスル者ハ其事由ヲ詳記シ(病氣ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ

添へし保證人連署ノ上願出ツヘシ

第五章 成績考査、進級及卒業

第十三條 成績考査、進級及卒業ニ關シテハ東京外國語學校學則第五章ニ準ス

第六章 缺席及休學

第十四條 缺席及休學ニ關シテハ東京外國語學校學則第六章ニ準ス

第七章 給費

第十五條 生徒ノ或數ヲ限リ學資トシテ年額三百圓ヲ支給ス

第十六條 學資ノ支給ヲ希望スルモノ多數ナルトキハ其中ニ就キ管理者之ヲ選定ス

第十七條 學資支給ハ月割トシ翌月五日ニ之ヲ交付ス

但休日ニ當リタルトキハ繰下ク

第十八條 學資ハ入學ノ月ハ入學ノ日ヨリ退學ノ月ハ退學ノ日迄日割ヲ以テ之ヲ支給ス

第十九條 左ノ各項ノ一ニ該當スル場合ハ學資ノ支給ヲ停止スルコトアヘルシ

一 缺席引續キ三十日以上ニ及フトキハ其翌日ヨリ缺席繼續中

一 停學ヲ命セラレタルトキ停學中

第二十條 學資ノ支給ヲ停止シ又ハ退學ヲ命シタルトキハ其月ノ分ハ日割計算ニ依ル

第八章 學資償還

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ授業費及支給セラレタル學資ヲ償還セシム

但シ文部大臣ハ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一 第十二條ニ依リ退學ヲ許可セラレタル者

二 第十一條又ハ懲罰ニ依リ退學ヲ命セラレタル者

第二十二條 前條ノ授業費ハ月額五圓トス

第九章 服制

第二十三條 本所生徒ノ服制ハ東京外國語學校生徒服制ニ依ル但襟章ハ右E左Eトス

第十章 學寮

第二十四條 學寮ニ關スル規程ハ東京外國語學校學則第十四章ニ據ル

第十一章 懲罰

第二十五條 懲罰ニ關スル規程ハ東京外國語學校學則第十七章ニ據ル

第十二章 圖書、器械及標本

第二十六條 圖書、器械及標本ニ關スル規程ハ東京外國語學校學則第十八章ニ據ル

第十三章 書式

書式(第一號) 用紙美濃判紙

入學願書

私儀第十二臨時教員養成所給費生徒トシテ入學致度ニ付書類相添ヘ此段願出候也

年月日

現居所

氏

名印

第十二臨時教員養成所管理者

東京外國語學校長 何 某殿

書式(第二號)

薦學書

何

某

右者貴所入學志願ノ處教員タルニ適良ノ者ト被認候ニ付別紙學業成績並人物考定書相添此段薦學候也

年月日

何々學校長 氏

名印

第十二臨時教員養成所管理者

東京外國語學校長 何 某殿

書式(第三號)

學業成績並人物考定書

何

某

學	年	修身	國語	各學年ノ通約	全級人員	各學年ノ席次	人物考定

右證明候也

年月日

何々學校長 氏

名印

(注意) 人物考定ハ品行、性質、志操、學動、長所及短所等ヲ記載スルコト

書式(第四號)

履歷書

原籍

族籍

(寄留者ハ寄留籍ヲ記載スヘシ)

戸主何某何男或ハ弟等

現住所

氏 (假名ヲ付スヘシ) 名

生年月日

一、卒業證書、免許狀、試験檢定合格證書

何年何月何日官「道府縣郡市町村」(私)立何學校ニ於テ何學科卒業證書ヲ受ク等(證書寫ヲ添付スヘシ)

一、學業

何年何月何日ヨリ何年何月何日マデ何所何某ニ就キ何學科ヲ修業ス等

一、職業

何年何月何日道廳府縣何々小學校訓導拜命何年何月何日依願免官或ハ現今在勤等

一、賞罰

賞ハ特ニ著シキモノニ限り書スヘシ

一、兵役關係

適齡前又ハ六週間現服役等書スヘシ

右之通相違無之候也

年月日

右

書式 (第五號)

參錢收入
印紙貼用

誓書

氏 名 印

私儀今般御所生徒トシテ入所御許可相成候ニ付テハ在學中御規則ヲ遵守スヘキハ勿論卒業後ニ在リテハ卒業後服務規則ヲ服膺可致候也

原籍 族籍

住所

年月日

氏 (假名ヲ付スヘシ)

名 印

生年月日

前書ノ通相違無之仍テ本人身上ヨリ相起リ候事件ニ關シテハ一切引受可申候也

原籍 族籍

住所

職業及本人トノ關係

年月日

保證人 氏

名 印

原籍 族籍

住所

職業及本人トノ關係

保證人 氏

名印

年月日

第十二臨時教員養成所管理者

東京外國語學校長 何 某殿

追テ保證人向後轉任改印等ノ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ速ニ御届可申候也

第十四章 生徒心得

生徒心得ハ東京外國語學校生徒心得ニ據ル

臨時教員養成所卒業者服務規程

(大正十年四月二十六日
文部省令第二十九號)

第一條 本令ハ高等師範學校、女子高等師範學校臨時教員養成所、東京美術學校圖書師範科及東京音樂學校甲種師範科卒業生ニ適用ス

第二條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一、學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間

二、學資ノ支給ヲ受ケザル者ハ其ノ修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間

第三條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間文部大臣ノ指定ニ從ヒ就職スルノ義務ヲ有ス但前條ノ義務

一年未滿ナル場合ハ其期間トス一學科ヲ卒業シタル者ニシテ更ニ他ノ學科ヲ卒業シタル者ニ在リテハ後ノ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間前項ノ義務ヲ有ス

第四條 卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第二條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサル者ハ其理由ヲ具シ道府縣ニ在職スル者ニ在リテハ地方長官其他ノ者ニ在リテハ出身學校長ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ

第二條ノ義務ヲ猶豫又ハ免除シタル場合ニ於テハ第三條ノ義務ハ之ト同時ニ猶豫又ハ免除セラレタルモノトス

第五條 卒業者ニシテ左ノ各項ノ一ニ該當スル者アリタルトキハ第一條ニ掲ケタル學校ノ學校長ニ於テ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ學資ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ授業費及在學中支給セラレタル學資、學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ對シテハ授業費ヲ償還セシム但情狀ニ依リ其全部又ハ一部償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、第二條又ハ第三條ノ義務ヲ履行セサル者

二、服務年限中懲戒、免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者
前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

第六條 卒業者ニシテ服務年限中研究科、專攻科又ハ帝國大學學部等ニ入學セムトスル者アルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ

第七條 卒業者ニシテ第四條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科專攻科若クハ帝國大學學部等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス

第五 職員

◇ 管理者

◇ 講師

東京外國語學校長 長屋順耳

東京外國語學校教授 辻高衛

同 片山寛

同 瀧村立太郎

同 吉岡源一郎

同 千葉勉

同 大橋榮三

同 井手義行

同 榮田猛猪

同 藤井章

同 友枝照雄

同 新井新平

同 助教

獨 英 佛 英 英 英 英 英 獨
語 語 語 語 語 語 語 語 語
體 國 修身、哲學
操 語 語

入學志願者數及入學者數卒業學校別

入 學 者	志 願 者	中 卒	商 卒	農 卒	師 卒	師(二部)卒	檢 定 專 檢	計
二八	一二七	一四	一	一六	(內一八中卒)	一	九	一七〇
三								三五

大正十五年十二月七日印刷
 大正十五年十二月十日發行

東京外國語學校

電話牛込
 五六三
 一五二
 一八一
 番番番

東京市赤坂區溜池町二番地

印刷者 織田正誠

東京市赤坂區溜池町二番地

印刷所 株式會社大洋堂

電話青山三九六七番

終

